

聖徒の道

9

VOL. 10 No. 9





聖徒の道		9月号		もくじ	
予言者のことば		2		道徳の唯一の標準	
デビッド・O・マッケイ		6		伝道部長メッセージ	
アドニー・Y・小松		10		質疑応答	
ジョセフ・フィルディング・スミス		12		系図のページ	
モルモン経		14		見証者に関する神の律法	
証		22		家族のタテキスト	
図書案内		28			



空に高く浮ぶひとすじの巻雲
実の秋は

稲穂の海を渡る空気もあまい

庭の萩が咲き乱れ

木の葉のそよぎにも涼気を覚
える

詩情をかきたてる中秋の名月
季感をはこぶ渡り鳥、野山を
埋める秋の七草。私の自然は
限りなく美しい。

聖徒の道 10巻9号

1966年9月1日

予言者のことば

道徳の唯一の標準

デビッド・O・マッケイ

マッケイ大管長の神権会に於けるお話の重要性に鑑み、その許可を得てこの論説の欄に掲げることになりました。

この歴史的なタバナクルホールに集っておられる大勢の皆さんの面前で又アメリカ合衆国、カナダを通じ四百以上の建物に集って居られる皆さんの前でお話できますことは、私の大きな特権であり喜びであります。

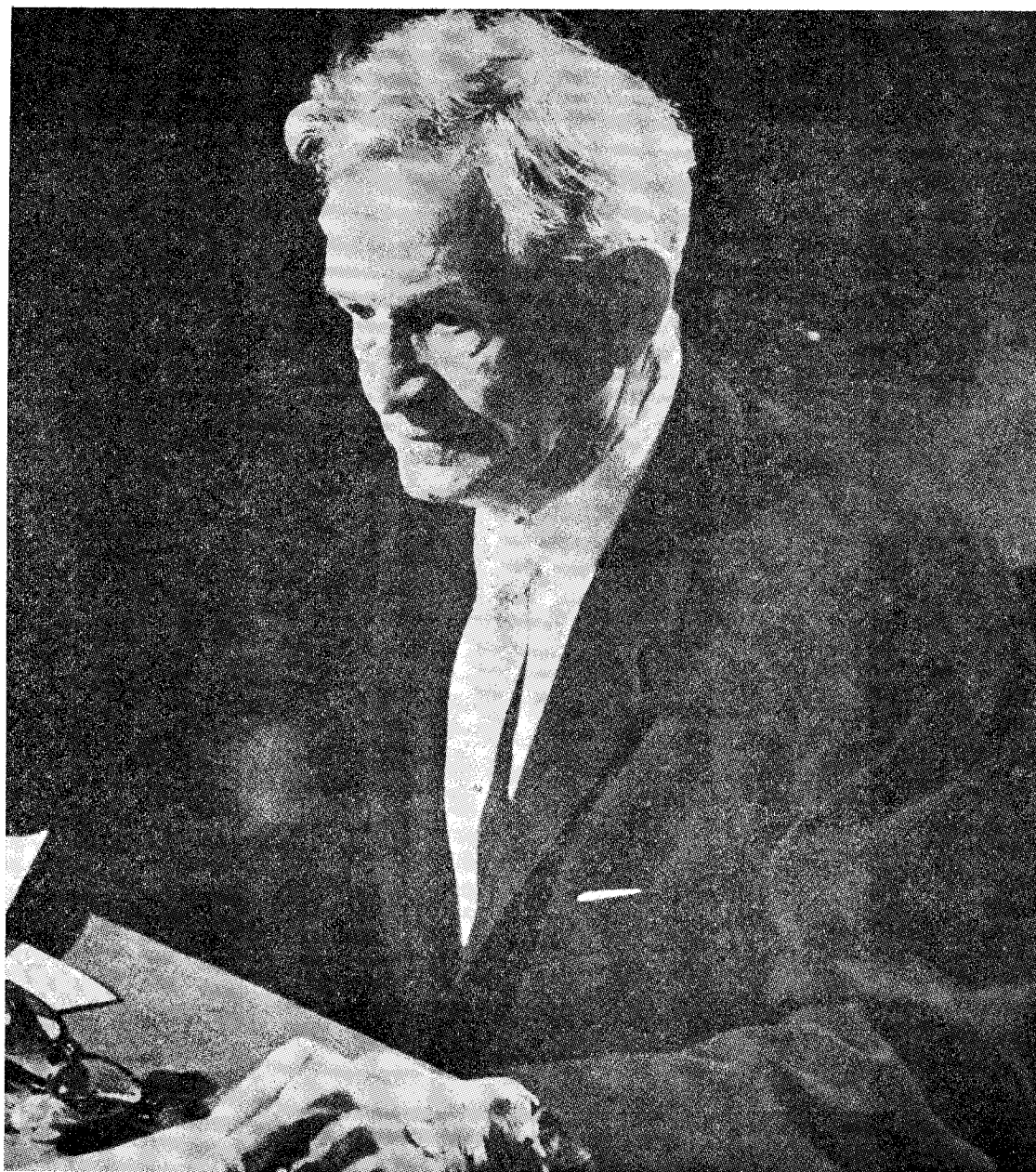
パウロはテモテへ書き送っております。神のみまえと、生きている者と死んだ者とをさばくべきキリスト・イエスのみまえて……おごそかに命じる

御言を宣べ伝えなさい。時が良くても悪くても、それを励み、あくまでも寛容な心でよく教えて責め戒め、勧めなさい。(テモテへの第二の手紙四・一一二)

同じ手紙の中で彼は予言的に宣言しております。……終りの時には苦難の時代が来る。その時、人々は自分を愛する者……神よりも快樂を愛する者、信心深い様子をしながらその実を捨てる者となるであろう。(テモテへの第二の手紙三・一一二、四一五)

私はパウロのこの命令と予言的な心を以て今日国内を一掃しつつある犯罪の発生に心を向けたいと思います。

私たちが苦難の時代に住み多くの人がより所を失って……だまし惑わす策略により、人人の悪巧みによつて起る様々な教の風に吹きまわされたり、もてあそばれたり。(エペソ人への手紙四・一四)



していることを疑う人は少いでしょう。
米国の犯罪は一年に二百七十億弗の額に達し、数千人のアメリカ人の死傷者を出しているのです。

遂に、最近ノルマン・ヴィンセント・ピール博士は道徳的水準の低下に就て言いました。最も根本的な社会的変化は、ゆっくり来るものであります。けれども今度はそうではありません。性の殆ど悪魔的力（間違った性）は悪魔的一面を持つている（突然爆発して、世紀の自制と伝統を破ってしまったのであります。この爆発を起した火花は歪められた自由の概念、新しい自由であつてその信奉者を屢々、鎖につなぐのであります。

そこで、ピール博士はニュース・ウィークに報告して言っております。新道徳の鍵は、疑いもなく広く男女青年間に広まった、大学で言うところの、相愛の關係に、ある者たちは共に寝る道徳的權利を持つてゐるという信念にあります。若い人たちは誰も傷つけられなかった問題じゃないと主張するがピール博士は言っております。これは理窟にかなったように見えますが、多くの者がこのような態度になつて行つた結果はどうなつたと思ひますか？ 次のような統計が現れてゐるのです。一九四〇年から一九五七年の間に庶子の増加率は年令十五才から十九才迄が一・二パーセント、二十才から二十四才迄三・〇〇パーセント、二十五才から二十九才迄四・六二パーセント

三十才から三十四才迄四七八パーセント
三十五才から三十九才迄四五六パーセント
四十才から四十才四迄一九六パーセント
となっております。

一九五六年から一九六一年迄の間の青年層に於ける性病の増加率は一三〇パーセントであります。一九五三年から内縁関係は三倍になりました。一九七〇年迄に一千万のアメリカ人の庶子が生れるであります。十五才から十九才迄の間の結婚していないお母さんは四十パーセントであります。

誰も傷つけられない？ ピール博士は続けております。何と馬鹿にしたてらめであろうか！ 何たる悲劇、嘲笑も甚だしい。傷つけられる者は個人にとどまらず、全世界を通じて我が国民を破壊し情落させているのであります。有史以来人類は無政府に代えて文明国となろうとするなら性の衝動を抑えねばならないということを知っております。ケンブリッジ大学の歴史家、J・D・アンウィン博士は四千年間に配置された八十の文明を研究してそれは社会が性的無秩序と墮落を選んだか風紀を保ち、勢力を建設的に用いたかによると結論しております。

アンウィン博士は人類社会は、偉大なる勢力を表現するか或は性的自由を享樂するか、自由に選択できるがその結果は明白で一時代に両方を為すことはできないと書いております。(罪、性と自制、ノルマン・ヴィンセント・ピール 四九、

五三―五六頁参照)

少年犯罪増加の主な原因は、特に我國の青年間に於ては家庭の理想の低下にあります。経済的独立の希望の成長、又は経済状態の改善の熱意は、世の多くの母親に家族を育てるという最大の責任を無視させる結果となったのであります。

連邦検察局のJ・エドガー・フーヴァー長官は、この青少年犯罪の背景には、恐るべき無視が存在している。青年男女の人格の基礎に必要な指導と関心が奪われ、その無法さは、あらゆる場合に家庭破壊の根を下ろし、両親の無責任さと誤解と無視は、その大切な義務に失敗している。殆どの場合、それらの家庭には信仰がなく或は神が歓迎されていない。他面これらの青少年犯罪者が若し機会に恵まれていたら殆どの場合に強く正しい市民となっていたのである、とはっきりと声明しております。

神の啓示は末日聖徒たちに、その子供たちにイエス・キリストの福音の原則を教え、その家庭を健全に保つように要求しております。また両親はその子供たちに祈ること、主の前に正しく歩むことを教えるべからず、この誠が主から教義と聖約六十八章二十八節に与えられ、両親にその子供を教える責任を教える責任に疑問の余地はないのですが、その責任はあまりにも屢々教会、学校、公共機関に転嫁されているのです。

私は教会の親たちは一般にその子供た

ちに福音を教えていると信じておりますが、私はまだそこには特に今日の状態に於て改善すべき多くの点があると信ずるのであります。私は多くの会員が教会の計画に応じて家庭の夕を實施し、両親は子供たちを集めて真理と正義を教えたまた家族の愛と忠実さに導いておられることを大変嬉しく感謝しております。多くの家庭がこれらの家庭の夕からもたらされる、豊かな祝福を証しております。

若しもあなたが私が神の實在に對する不動の信仰を先ずどこで受けたかと問われるなら、子供の時に家庭で、お父さんお母さんがいつも子供たちを集めて、朝に夕に家庭の上に人類の上に祝福があるように神に祈った時ですと答えるでしょう。眞実の家長の声はその子供たちに消えない印象を与え、お母さんの祈りも、又同様に印象的なものであります。私は今夜、教会のすべてのお父さんが子供たちに神は實に生きていまし、その子供たちを導き守りたもうことを印象づけるように望みます。あなたにはその責任があります。家庭は社会の基礎単位であります。私はお父さんが神の声を聞いたと証する前に神が造られた者の側近くおられることを知っていました。私はまた私のお父さんがスコットランドで伝道していた時に熱烈な祈りに答えて聞きとれる声で、生ける神の予言者、ジョセフ・スミスを証しなさい、という勧告を受けたと云う眞実を語った時も、身近に神を意識

して永遠の天父の實在を知ったのであります。このようなのが眞の末日聖徒の父なる神に對する概念であります。

― 教会が組織されて以来、指導者たちは声を高くして無信仰と性的不道德は、今日の文明に脅威を与え破壊するところの二つの基本的悪であると警告して来ました。不幸にも今日の世の中の傾向は、 그리스チャンの家庭の根底そのものを覆えようとしております。性的ふしだら、放縦及び罪は、その陰險な悪らつな敵であります。

教会に於ては唯一の道德的標準があるだけであります。男子青年は女子青年よりも放蕩をしてよいという如何なる権利も持っておりません。女性に殺人の次の罪は貞操を失うことであると教えられておりますが、それは若い男性にとつても同様の理想であるべきであります。この理想が教会の中で保たれていると言つても世の中の人には信じないでしょうが、私たちはそれが眞実であることを知っております。

監督の処へ来て聖壇に伴う清潔な女性を紹介して下さいと頼む若い男性は、彼が受けとりたいと期待していると同様の清潔さを期待されるのであります。

如何なる人も清潔の律法を犯して平和を見出す者はおられません。これが私たちが両親として又神権者として、全教会を通じて若い男女その他すべての人に与えねばならないメッセージであります。如

何なる機会、如何なる誘惑にもかかわらず若い人たちに、幸福を見出そうとするなら、彼が神聖な真の男らしさを持たねばならないことを知らせなさい。彼が誘惑を拒絶して完全な生活をする時に幸福となることを知らせなさい。そこには心の動揺の代りに平安があるのです。

若い夫婦が聖壇に跪いて、お互に真実であるべきことを要求し誓約し合う時に幸福な結婚が始まるのであります。

大きな結婚の問題を正しく解決するために私たちはその導きを得るため安心してイエスに向うことができるのであります。彼は結婚の關係は神聖な起源に基き、結婚は神の命ずるところであり特別な例外の場合を除いて破棄されるべきでないと言明しております。キリストの教会の教えでは個人と社会の成長の中に在って、家庭は最も重要な存在であります。如何なる不平によってもこわされず最後迄、解消しない愛の結合を楽しんでいる人たちの幸福は幾重にも倍加されるのであります。価値ある夫婦が神権の権能によって永遠に結び固められた時、それは解けないであります。結婚の儀式がこのように結び固められた時、世の如何なる経験も勝ることのできない幸福と喜びをもたらすのであります。私たちの教会の若人ほど世の汚れに染まらないように教えられ靈感されるよい機会を持っている団体は世界にありません。教会の会員特に神権者はその生涯に於て最も

高貴な召し、即ち彼らの努力と才能と手段を捧げて救いと平和をもたらし、彼らの生活を捧げて人類のためより平和なよい世界とすると言ふ召しに従事する機会を持つていたのであります。

予言者ジョセフ・スミスに神聖なメッセージが与えられました。汝ら、人の値は神の前に大いなることを憶えよ。(教義と聖約一八・一〇) 救主によってこれに矛盾するような声明がなされましたが、それがその啓示であります。自分の命を得ている者はそれを失い、わたしのために自分の命を失っている者は、それを得るであらう。(マタイ伝一〇・三九) この意味は次のような他の聖句の光に照らされて、はっきりするのであります。

わたしの兄弟であるこれらの最も小さい者の一人にしたのは、すなわち、わたしにしたのである。(マタイ伝二五・四〇)

そのような目的に向って努力しながら人々と、交わるだけでも喜びであり、彼らの要求に応じて助けてやることは靈感であります。若しもあなたが真に救主に従う者であれば愛を以てあなたの隣人に奉仕しようと努めるでしょう。

この歴史的タバナクルに集える数千の会員及び直接放送を傾聴している数千の聴衆に対し私は心から神が常に、あなたたちを感情に走り自制を非難し、家庭の神聖さを放棄する、共産主義者マルク

ス自身の言葉によれば、神を追放する者の低級な陰謀にかからないように守るよう祈ります。

役員、指導者、神権者の皆さん。あなたは神に選ばれた人たちであります。これは神の仕事であるという証を輝かして前進しなさい。あなた自身がそれを感じなさい。そうすればあなたのワード部及

びステーク部の男女が特に若い人たちがそれを感じるでしょう。あなたは言葉だけでなくその態度にも動作にもそれを放射しているのですから。

神がこの偉大なる業に私たちを導き助け、靈感されるようにイエス・キリストの御名を通して祈り致します。

アーメン





伝道部長メッセージ

愛する兄弟姉妹のみなさま

アドニー・Y・小松伝道部長

世の如何なる団体に属していようと、私たち末日聖徒イエス・キリスト教会の会員が受けている最大の祝福として感謝せねばならないことは、教会の頭に生きた予言者を持っているということであります。

一九六六年九月八日に九十三度目の誕生日を迎えるデビッド・O・マッケイ大管長は、主にその教会を導くように召された最も偉大なる人の一人であります。マッケイ大管長夫妻は確かに予言者ジョセフ・スミスの言葉、信仰箇条第十三条の真の模範であります。

われらは、正直、真実、貞潔、慈善、高德なるべきこと、およびすべての人に善を行うべきを信ず。まことにパウロの訓戒に従うというを得べく、われらはすべてのことを信じ、すべてのことを望む。すでに多くのことを堪え忍びたればあらゆることを堪え忍び得んことを望む。もし何にても、徳高きこと、好ましきこと、よき聞えあること、あるいは憂むべきことあらば、われらはこれらをたずねるとむるものなり。

私は私たちが常に彼に感謝しその偉大なる模範に従うように望み且祈ります。マッケイ大管長の九十三回目の誕生日を祝して、私はここに一九六五年九月号のイムブルブメント・エラに掲載されたカーター・イー・グラントの記事を皆さんに御紹介致します。

私たちの大管長の 九十三回目の誕生日

カーター・E・グラント

およそ一世紀前、丁度九十二年前の一八七三年九月八日ユタ州ウエバー郡ハンツヴィルのジェネット・エヴァンズ・マッケイ家に十人子供の三男が生まれました。父親と父親の母を崇めて両親は彼をデビッド・O・マッケイと名付けました。この名は遠く近く、回復されたイエス・キリストの福音が人の心にふれる処、何処においても知られているのであります。

一八五六年デビッド・O・マッケイのお父さんが十二才の時、彼及び彼の兄弟と三人の姉妹はその両親ウィリアム及びヘレン・オマン・マッケイと共に彼らの故郷スコットランドのカイセネスから七百六十四人の聖徒たちと共に六千哩西方のロッキーマウンテンのシオンへと船出したのであります。大西洋上における四十一日間彼らはひんばんに襲う容赦なきストームのため、大海の風波に翻弄されたのであります。ニューヨーク州キャッスル・ガーデンに上陸してから彼らは西方一千三百哩のロッキーマウンテンの集合の地アイオワ市へ向ったのであります。

遂に一八五九年六月十三日ネブラスカ・フロレンスにおいて千哩の試練の旅には貧弱な装備ではありましたがマッケイ家はジェームス・S・ブラウン隊長指揮下の五百五十三名の開拓団の指揮下に入ったのであります。五十九の幌馬車は直ぐ道に沿って延々一哩余りにのびて行ったのであります。

一八五九年の八月二十九日の夜ウィリアム・マッケイ及び彼の家族は、大ソルト・レーク盆地にたどり着きました。ここに少し滞在してから彼らは、四十哩北方へ移ってユタ州オグデンに開拓者の家を建てました。

一八六七年の夏、デビッド・O・マッケイの誕生六年前そしてロッキーマウンテンに鉄道が敷設される二年前に二十五才になったデビッド・O・マッケイは暗褐色の眼の十六才のウエールスの花嫁さんジェネット・エヴァンズ・マッケイを娶り、東方十二哩の景色の好いオグデン河盆地に行つてハンツヴィルに彼らの家を造りました。現在のマッケイ家の直ぐ西側にある丸木小屋のその中でデビッドとジェネットは真剣で幸福な共稼ぎの生活を始めたのであります。新家庭をいとなんで六年目に少しその屋敷を広くしたところにジェネットに三番目の息子、デビッド・O・マッケイが生まれました。

モルモン大隊のジェファソン・ハント隊長がハンツヴィルを建てて三、四十年前、ピーター・スキーン・オグデン、ジム・ブリッジジャー、ウィリアム・アシ

リーその他多くの獵師、商人、探險家などが集っていた頃、この美しい山間の盆地は、その清流と豊かに実る肥沃の地のため、オグデンの窪地として西部に知られていたのであります。

ハント隊長の時からこの大きな盆地に三つの活気ある村、ハンツヴィル、エデン及びリバティが生じたのであります。

マッケイの日記によると七十年代の始めにブリガム・ヤング大管長がハンツヴィル及び周辺の地を訪ねて、これは末日聖徒を育てるに理想的な場所だ、と宣言されたそうです。

大管長の勧告を心から、主の言葉として受け入れてデビッドと彼の妻は四人の息子と六人の娘のうち八人は成人しましたところの模範的な末日聖徒の大家族をつくり上げたのであります。

教会の記録はデビッド・O・マッケイのお父さんのデビッド・マッケイはエデンに二年間、ハンツヴィルに二十年間計二十二年間監督を務め、それからウエバ・ステューキ部の祝福師となるまで高等評議員になりました。

子や孫、三世四世にわたってデビッド・マッケイはその働らきによって心から主の言葉を受け入れていたことを証明しました。

その日、わがシオンを起さんと務むる者は幸福なるかな、かれらは聖霊の賜と能力とを受くるによる。また平和を宣

べ大いなる喜びの音ずれを宣べ伝うる者は山の上に在りていかばかり美しきかな。(ニーフアイ第一書一三・三七)

マッケイ大管長はお母さんを真に、山の上の美しい人、と信じてその編集記事に書いております。私のお母さんはすべての婦徳をその身につけておりました。彼女は美しく、高貴でありました。そして家庭を夫と子供たちのために最も

気持のよいところとすることを彼女は常に目標としていました。そして当然彼女はそれを最高に達成したのであります。(一九五八年五月号、イムブルーヴメント・エラ三〇三頁)

この素晴らしい母親に生れた長男のデビッドが十二才になった時、教会の大祝福師はその手を彼の頭に置いて予言しました。

主の眼は貴方の上にあり、若い時に貴方は責任ある地位のために準備せねばならない。

貴方は広く世界を見るでしょう。貴方は散乱したイスラエルの集合を助けるでしょう。

貴方は貴方の兄弟たちと共に評議員会の席につくでしょう。

貴方は民を管理するでしょう。

この祝福が与えられてから十二年後にこの青年はスコットランドのグラスゴーの大会を管理したのであります。この同じ地方部を、二十数年前に彼の父が管理

したのであります。

マッケイ長老はその伝道中に、主の眼、が真に彼の上にあることを証明するに充分な神聖な経験をしたのであります。後年、教会の一般大会でマッケイ大管長はスコットランドで七十人会最高評議員会のジェームス・L・マックマリン管理の下に開かれた素晴らしい宣教師大会について証しました。

私は昨日のように覚えております。その時激しく靈感され、すべての人が主のみたまの豊かにふり注がれるのを感じました。そこに在席した人は皆一つの心になりました。そのような気持を私は未だ曾て感じたことはありませんでした。

それは私が今まで、秘かに丘の上や牧場で、熱心に祈り求めていたものの現われでありました。それは私にとって心から求めていることは何時か何処かで答えられるという確信となりました。聖霊は、長老たちがその頬に涙を流すまで、ふり注いだのであります。彼は証しました、その涙は悲しみからでなく溢れたみたまの現れでありました。……一人の長老が証して「兄弟たちよ。この部屋には天使がいる」と宣言しました。

これに対しマックマリン部長は立上って、そうです兄弟たち、この部屋には天使がおります。そしてマッケイ長老に向って彼は予言的に言いました。デビッド兄弟よサタンが麦のように貴方をふり

わけようとしていますけれども神は貴方を見守っております。もし貴方が信仰を守り続けるなら貴方は教会の指導的地位を占めるでしょう。

マッケイ大管長は彼自身の将来についてこの証を知らせた後謙遜に宣べました。

「そこで私は信仰を守ることを決心すると共に一寸考えただけでも私が如何に北スコットランドと南ウェルズで私の祖父及び祖母に回復された福音を説いた長老に負うところが大きいかを覚って、私の隣人に奉仕したいと言う望みが起つて来たのであります。(印象に残る経験 一三一―一四頁)

貴方は広く世界を見るでしょう。誠に祝福師を通じて宣言された主のみことば通り恐らく教会幹部でマッケイ大管長程世の中とその民を広く見た人はいないであります。また同様に、貴方は幹部評議員の席につくでしょう。

また、貴方は兄弟たちの間に在って管理するでしょう。においても一九〇六年四月九日デビッド・O・マッケイは三十二才を以て回復されたキリストの数回の十二使徒に聖任されました。それに次いで他の召しがあり一九三四年十月六日、ヒーパー・J・グラント大管長の第二副管長となり一九四五年ジョージ・アルバー・スミス大管長の副管長となり一九五〇年十月五日、十二使徒会長に任命され

一九五一年四月九日末日聖徒イエス・キリスト教会の大管長に支持されたのであります。彼は今や五十九年間も教会幹部であります。

「共に働く我が愛する兄弟姉妹の皆さん」教会の大管長に支持された後、デビッド・O・マッケイは語り始めました。

「私は私の今のほんとうの気持ちを皆さんにわかってもらえるようにお話ししたいと思います。私は皆さんが私の心の中を覗いて、皆さん御自身の眼でこの感じを見られるように望みます。先ず教会の頭と波調を合せなくては如何なる人もこの教会を管理することはできません。彼の神聖な導きと不断の靈感なくしては成功できません。彼の導きと彼の靈感を以てする時私たちは失敗しません。私は主のみたまと共にあるように最善を尽すことを皆さんに誓います。(福音の観念 二六一―二六三頁)

。教会の頭と波調を合せる。これらの神聖な人々を参照してジョセフ・スミスは宣言しました。世の人に福音を説き儀式を執行するように召されたすべての人はこの世の以前に天国における大会議で予任されたのであります。私は実際にこの職に予任されていたと考えます。

(末日聖徒イエス・キリスト教会の大管長たる人 教会史六・三六四)

父アブラハムは彼の記念の書の中に彼が示現のうちに取り上げられ、この地上

に来て肉体を受けることを待っている神の霊の子たちの間に立ったことを記録しております。彼は次のように観察しました。これらすべてのものの中には高貴にして偉大なるものも多くありたり、それらの者について神は宣言しました。これらの者をわが統治者となさん、それから神はアブラハムに向って言いました。

汝はこれらの者の一人なり、汝は生れざる前に選ばれたり。(アブラハムの書 三二―三三) この世の正しい人たちについて主はジョセフ・スミスに宣言しました。

これらの者は信仰によりて打ち勝ち、御父が正しく且つ真実なる者に皆注ぎたもう約束の聖き「みたま」によりて結び固めらる。

これらの者は「長子」の教会員にして、

そしてこれらの正しい神の僕たちがその報いを受けに戻る時は、その約束は神とそのキリストとの御前に、いつまでも限りなく住む、ことであります。

(教義と聖約七六・五三―六二)

六十四年以上、エマ・レイ・リッグス・マッケイは誓いある彼女の同伴者の傍に身を捧げて待ったのであります。そして一八九七年八月七日彼が伝道に出発する以前にもまた彼がユタ大学のフットボールチームの一人であった時もまた彼が卒業生総代となった時も、エマ・レイは友

人として彼を誇りにしていたのであります。

マッケイ長老が、スコットランドにいる間に彼女は彼女のワード部、ステーク部及び家庭に見積ることのできない価値をもたらしした特別優秀な音楽の成績を以て大学を卒業したのであります。

来る九月八日の私たちの予言者、聖見者、啓示を受ける者の九十三回目の誕生日に當つて、全世界を通じて末日聖徒イエス・キリスト教会の会員は心から第九代目の大管長及びその愛すべき夫人に敬意を表し献身せんとするものであります。

秘訣を持った人

ノルマン・ヴィセント・ピール

先日私はデビッド・O・マッケイに逢つて、圧倒的な印象を受けました。私はこの二百五十万の精神的指導者がいろいろな点で私に感動を与えたと思います。モルモン教会の大管長についてよく使われる言葉は、聡明で聖者らしく謙遜でウィットにとんでいるなどであります。けれども私は何にもまして彼の人生に対する強烈な熱情から暖い愛情を受けました。この資質は誰にあつても偉大ではあります。私はマッケイ大管長が九十一才の高令であつたことに特に感動を覚えたのであります。彼の明るさはその笑い、楽

観主義、暖かい微笑特に私たちの訪問が終つた時の折りの中に溢れております。

私がソルト・レーク市の彼の事務室を立去ろうとした時彼は私の腕をかかえてお父さんのような口調で話しかけました。彼の声は、人間的な友情、キリストの救いの愛、その弟子たることを感謝している讃美歌としか感ぜられませんでした。

後日、私の妻ルツと私がモルモンの指導者を訪ねた時のことについて語り合っている時に私は「彼が今まで私が逢つた人で最も幸福な人だと思ふ」と言いますと妻は興味深そうに、「あのような年令と責任を負っている人は、その偉大さのかけに何か秘訣があるのでしょうか」と言いました。

彼の秘訣!! もしもそのような秘訣があり、私たちすべての者がそれを発見し用いて私たちの生活を彼のように神と共に歩む楽しいものとしたら何と素晴らしいことでしょうか。私はこの秘訣の手がかりはないだろうかと考えました。私は彼の書記のクレア・ミドルミス嬢が二十九年間彼の手として働いた間、一度もさからう言葉聞いたことがないと言つたのを思い出しました。

そして私は数カ月前にマッケイ大管長が一人の人に話をするために演壇に登ろうとした時に階段につまずかれ、はつとした瞬間を思い出しました。人々は息を

つまらせました。けれども彼は立上って聴衆に向つて抑え難い微笑みを以て「年をとることは、大変なことだ。」ときびしそうに言いましたが「でも死ぬよりはましだ」とつぎたしました。

私はニューヨークに帰ると何人かのモルモンの人を訪ねて私は、彼らの指導者についてもっと知りたいと申しました。数日の内に私の机上にはマッケイ大管長の演説集、彼について書かれた書物を知っている人々からの手紙が山積しその人となりの画像が私の前にかたちづくられて来たのであります。

デビッド・O・マッケイは一八七三年九月八日にユタ州のハンツヴィルで開拓者の両親の十人の子供の長男として生れました。彼の人世は伝統的なモルモン教徒の生き方でありました。勤勉、信仰を土台とした家庭生活、定期的な海外伝道、それから始まった教育界での経歴が彼をして教会の最高の地位に導いたのであります。

一べつする方が広汎に描写するよりもよくその人がらを現わします。

ある時、マッケイ大管長が集会を司会しようとして会場の中を歩いていきますと八才か九才ぐらいの少女が群衆にもまれながら彼に署名を求めて一生懸命近づいて来ました。彼はそれに答えて彼女の方を向いた時には遮られて彼女は見えなくなっていました。

それは小さなことのように見えたが、マッケイ大管長にとってはそうでなかったのです。彼は話を始める前にまわりの人に、私はあの少女を見つけたねばならない、と言って彼女を探し彼女のプログラムに署名するまで、会を進めませんでした。

このように他人のことを心配する例は特に彼自身の家族の間にしばしば見られたのであります。現在ユタ大学の教授であります彼の息子さんのレウエリンはもしもマッケイ大管長の七人の子供さんたちのうちきかない子がいたらそれは私だと申ししております。レウエリンは十代の時にレンチを買いにやられ、店からレンチをたずさえてにこにしながら戻って来て、「店の番頭さんはまぬけんぼうで僕に五弗多くおつりをくれたんだよ」と得意そうにお父さんに言いました。デビッド・O・マッケイは一寸息子のことを考えました。

「お父さん、彼らはこんなお金惜しがりやしないでしょう」レウエリンは自らを弁護するように言いました。「あの店はとても、もうかるんだから」

「お前の言うのは、ほんとうだろう、あのお店は五弗なんか惜しがらだろう。」お父さんは言いました。「けれども番頭さんが家族を養っている給料から五弗弁償したとしたら彼はその五弗を惜しがるでしょう、そうじゃないだろうか坊や」少

年は不平そうにうなずきました。父親は更に続けました。

「けれどもその番頭さんが責任をとらなかつたとしたらそして誰もお前が五弗持っていることを知らなかつたとしてもお前はそれがお前のものでないことを知っている」長い沈黙が続きました。「坊や正しいことをするかどうか決めるのはお前なのだよ」

レウエリンは翌日五弗を戻しました。父親は法の命ずるままにするのでなくして、若くともその人格を尊重して彼自らが決めるように彼に命令でなく自由の原則を与えたのであります。

誠に私がこの人について読み観察した時に、すべて波がなしたことはこのようにそれが息子であらうとまた始めて逢った少女であらうと他人を考慮し、その意志を尊重することがわかりました。私はこれがきつと彼がその人生にそのようにはつきりとした喜びを見出している、秘訣ではなからうかと思ひます。レウエリンは、彼の父が他人を尊重することはマッケイ夫人に対する態度に最もよく証明されていると書いております。

結婚後六十四年にしてマッケイ大管長は未だに彼女が入って来ると起立するのであります。そしてつい最近彼は雨の降りしきる中に彼女のために自動車の扇を開け、彼のもちやもちゃした頭髮は風雨にさらされたのであります。そのよう

な関心は家畜にまで及びました。彼が旅行に出ているある夜中に家族の者は電報に眼をさまされました。驚いた家族たちが急いで封を開くと、シーザーに水をやりなさい、と言うメッセージでした。シーザーは彼らが飼っている牡豚で、農家の子として育ったマッケイ大管長は数百年も離れたホテルの部屋で家畜が無視されはしないかと心配で寝れなかつたのであります。

ある日私は愛する教会員の話に私の質問の回答を見出しました。それはマッケイ大管長がずっと以前から座右の銘として覚えていた、エドウィン・マールカムの四行の詩であります。

私たちを兄弟にする決定的な力がある誰も一人では生きられないすべて他人になした事は自分に戻って来る。

すべて他人になしたことは、マッケイ大管長の場合、他人を思い、尊重し、愛すること喜びと平和と愛情が戻って来たことに何の不思議がありませんようか!!

三人の見証者

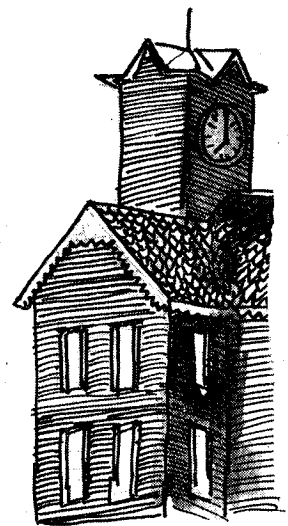
解答者

ジョセフ・フィールディング・スミス長老

質問

モルモン経の権威ある三人の見証者が天使の面前に立つという素晴らしい証を与えられてから、教会から離れてしまったということ、常に私にとって不可解であります。そして私にとって彼らが離れたということ、彼らが死ぬ迄、その証の真実なことを否定しなかったと理解し、またその離れるときにその証を持つ

答



これら三人の見証者の態度を考慮するに当って私たちはいろいろの選境を念頭に置くべきであります。大きな事実は彼ら各人が会員たる資格を失ったにもかかわらず死ぬ迄神聖な証に真実であったということであります。そこには裏切りの蔭はありません。その証は後日に於ても各モルモン経に見られる声明文に署名した時と同様に彼らにとって真実なものでありました。

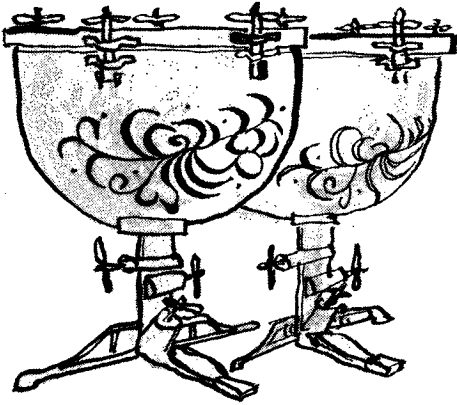
オリヴァ・カウドリとマーテン・ハリスは深くへりくだって再び教会に戻り忠実な会員として死にました。デビッド・ホイットマーは遂に教会に戻りませんでした、その証は真実であり、彼自身の教会を建てようと努めたのでありました。マーテン・ハリスは、後年に山脈盆地の開拓者となり、そこで末日聖徒たちの間で亡くなりました。オリヴァ・カウドリは教会の忠実な会員として死にまし

たがデビッド・ホイットマーは教会が背教したと感じて去り、予言者ジョセフ・スミスに真に従う者と見做す人たちを彼の周辺に集め組織したのでありました。

個人的に私はデビッド・ホイットマーに非常な同情を感じております。私は彼が正直な人であったことを信じております。けれども他の人のすすめに負けてしまったのでした。彼は死ぬ時にその名譽にかけてモルモン経のもたらされたことを証し、オリヴァ・カウドリ及びマーティン・ハリスと共に自発的に、その証を与えたのでありました。彼の証をくじこうと企てた者たちが居りましたが完全に失敗しました。

或時オルソン・プラットとジョセフ・エフ・スミスはミズーリ州を訪問している時、彼に逢うように召され、長い面接をしました。彼は彼らを喜んで迎え、話は教会の早期の出来事に及びました。この

質問と答



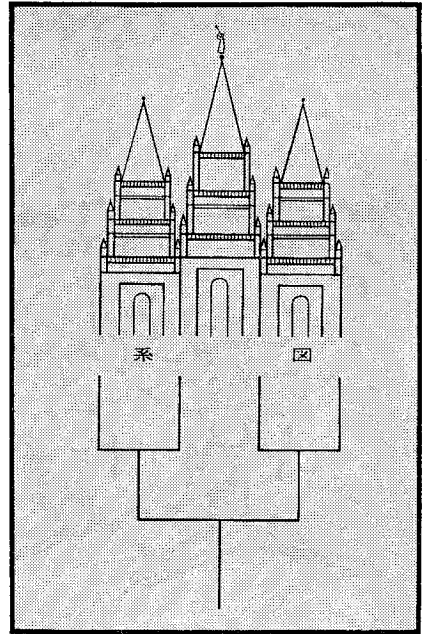
ていた事実にもかかわらず、彼らの言い現わした厳肅な言葉を大いに損ずるものではないかと思われま
す。彼らが生涯真実な者として教会に留っていた方が
どれ程よかったことでしょう
か。

時、デビッド・ホイットマーはモルモン経のもたらされたことに就ての彼の証を述べその証は彼が最初オリヴァ・カウドリとマーテン・ハリスと共に署名したのと少しも変わりませんでした。実際に彼は決して教会に復帰しようとしませんでした。たが誤って完全に彼自身の組織をつくる権利があると感じ、そうしたのであります。彼が教会の忠実な会員として死んだオリヴァ・カウドリとマーテン・ハリスに従わなかったことは不幸なことでありました。

私が検討しますのに、これらの事実にも注意して下さい。若しもモルモン経がもたらされた話がうそで、モロナイは決して存在せず予言者ジョセフ・スミスがだましてモルモン経をつくったとしたら、その創作は教義的に歴史的に完全に間違いに充たされ、どんな人でも知的な人がそれを手に入れたら明らかにその間違いを見出したであります。私は如何に博学の人でも、モルモン経に比べられる創作が出来るかどうか挑戦することができ、また否定することさえできます。私は何度もモルモン経を読み、読む度に何か私の為になることを得ます。何処にあなたは、モルモン経の言葉以上に知的な深淵な慰められる教義を見出し得られるでしょうか？更にあなたがそれを読む時に、あなたはそれがキリストのみたまによって宣言されたと感ずることを拒むことはできません。

すべての人々はみな善悪の区別を弁えるためにキリストの「みたま」を授かる。さて今私は判断の方法をあなたたちに教えよう。善を行えとすすめる、またキリストを信ぜよとすすめるものはみなキリストの権能によってその賜として来るのであるから、それが神から出たことは何の疑いもなく充分確に知ることができる。これに反して悪をせよと説きすすめる、またキリストを信ぜずこれを否定し神に仕えるなど説きすすめるものは何でもみな悪魔から出たと言うことは、何の疑いもなく充分確に知ることができる。なぜならば、悪魔とその使たちまた自分から悪魔に従う者たちは、このように働いて誰一人にも決して善いことをせよとすすめないからである。(モロナイ書七・一六—一七)

このような感情は聖霊の導きによってのみもたらされるものであります。この三人の見証に関して考慮すべき、もう一つのことがあります。若しも彼らに要するにモルモン経のもたらされたことに就て偽証していたとしていたら彼らが教会の目的に反した時、当然、真先にその偽証を明らかにしたのであります。けれども実際には彼らがいろいろ困難な問題にぶつかったにもかかわらず死ね迄、その証に忠実であったということが彼ら証人が真実の事を語り、彼らの証は真実であると云うことの最も強い証拠であります。



戸籍とは（続き）

（七）戸籍の再製

戦時又は戦後における物資不足の際に編製された戸籍のうちには粗悪な用紙を用いたものが、かなり多くあり、その戸籍用紙は既にこれまでの使用によって磨滅し、今後このまま使用を続けるときは滅失するおそれがあるため昭和三十三年九月十五日付民事甲第一八四七号通達で、戸籍の再製（新しい用紙に書替）が実施されることになった。

全国の市町村においては、先の戸籍の改製事務に引きつづき、この再製作業に入っているのであるが、本市においてはこの再製を要する粗悪な用紙を用いた戸籍が六二七六戸あり昭和四十一年度か

ら二ヶ年計画で再製を実施している。
戸籍謄本をとられた場合「滅失の虞あるため命により昭和年月日本戸籍再製」と書かれているのは再製されたことを示すものである。

（八）戸籍と住民登録

壬申戸籍では住所主義をとり、家族の居住場所と本籍とは一致していたので、戸籍は住所登録や人口把握のためにも有用な制度であった。その後本籍から離れて生活する者が増加したため住所登録としての意義は薄れ、今日では戸籍は専ら自分関係を記録公証する制度となり、本籍はその公簿の索引的機能を果たすだけのものとなった。

そして国民が現に居住している状態を把握し、人口の状況を明らかにして各種行政事務の処理に資する機能として、昭和二十七年に制定された住民登録法に基づき住民登録制度（この前身としては、大正四年に施行された寄留法がある）がこれに代るものとなった。

住民登録制度では住所が変わった場合、住所地の役場から本籍地の役場へ通知し、本籍地の役場では「戸籍の附票」という帳簿を書き込むことにして戸籍との連繫を保っているが、これを見ても住民登録制度は戸籍の分化発展した制度と見ることが出来る。

三、あとがき

国民各人についてみると普通戸籍にはあまり縁がないといえるものの、昨年度全国市町村役場で取扱った戸籍の届出件数は六、七三二、二七一件にのぼり、また戸籍の謄抄本や証明の発行数は三四、一九八、四二〇件であり、これらみても戸籍は国民の信頼に応えながら、毎日休むことなく活動しているのである。

戸籍の記載は、先にも述べたとおり、そのほとんどが国民からの届出によってなされるのであるから一生のうち数回しか届出をすることがないにしても届出すべき事項が発生したら直ちに届け出、また届出によらなければ効力を生じない婚姻や縁組などの身分行為をしたときも、すぐ届け出て、戸籍の真实性と信頼性をさらに高めるように一層の理解と協力をお願いしたい。

戸籍の歴史

一、戸籍の起源と徳川時代以前の戸籍について

（一）戸籍の起源について

イ、十代崇神天皇の十二年の詔勅
ロ、三十六代孝徳天皇の文化元年八月の詔勅

ハ、白雉三年四月の令義解（戸令）
（この令義解が日本に於ける戸籍制度の起源）

（二）令義解について
イ、目的

（三）授田や租税の多寡賦役を課す基礎

を定めること

- (2) 資賊や浮浪者を防止し親族関係を明確にして刑事責任能力を確認すること

- (3) 姓氏の紛乱を避けこれを是正すること(主たる目的)

ロ、戸籍の帳簿

戸籍の帳簿として「戸籍」と「計帳」の二つがあり、戸主の事実(申告書)を基礎として「戸籍」は六年に一回計帳は毎年一回調整する。

ハ、戸籍の記載内容

戸の等級、姓名、男女別、年令、疾病の有無、官位職役等を記載

ニ、計帳の記載内容

面貌、黒子、あざその他人体の特徴戸口の増減変化、戸の調庸(租税)の総計等を記載

ホ、戸籍及び計帳は国勢調査であり、国の歳入予算であり、国防とか社寺建設等の計画資料であり、国の政治そのものであった。

二、徳川時代の戸籍

島原の乱後、キリスト教禁止のため「宗門改め」の影響で、戸籍制度は大いに発達し、近代的な戸籍制度として体裁を整え整備された。

- (一) 宗門人別帳(徳川時代前期の戸籍制度)

イ、目的

戸口の員数を詳らかにし賦役の多寡郡村の貧富を知りキリスト教でない

ことを証明することにあった。

ロ、戸籍の帳簿

戸籍の帳簿としては「人別帳」と、「宗門改帳」とがあり、里長、名主五人組名主等が作成した。

ハ、人別帳

氏名、族籍、年令、同居人等の出入毎月のその町内の生死等の増減を記録した。

ニ、宗門改帳

僧侶の証明をつけ戸内の男女のキリスト教でない旨を記録した。

(二) 徳川時代後期の戸籍制度

「宗門改め」を基本とし、これに警察や徴税の目的を加え現行戸籍制度の基礎を樹立した。

三、明治以後に於ける戸籍について

(一) 京都戸籍仕法

明治二年四月政府直轄領に施行、壬申戸籍の前身

(二) 明治四年戸籍法(壬申戸籍)

中央集権制度下における戸籍制度の全国的統一のため明治四年四月四日太政官布告を以て近代的成文法として整備された戸籍法を公布、これが現行戸籍法の開祖である。

イ、目的

全国の戸口調査、浮浪人取締りという行政的な警察的な目的をもった。

ロ、内容と特色

- (1) 四民平等の原則に基いて戸籍を編

製した。

- (2) 平民に苗字を許した。

- (3) 戸主に家族の身分行為一切につき統制権が認められた。

- (4) 本籍、氏名、年令、出生、死亡、婚姻、離婚、縁組、離縁等の外職業

印鑑、宗旨、犯罪等を記録した。

(三) 明治十九年の戸籍法

明治十九年十月「戸籍事務取扱手続」「戸籍登記書式」が定められ、戸籍の記載の方法、戸籍簿の調整、永久保存の原則等を確立し、壬申戸籍の不備不足を改善した。

(四) 明治三十一年の戸籍法

民法施行により、戸籍制度は司法的身分公証制度となり、本格的に改革された。

内容と特色

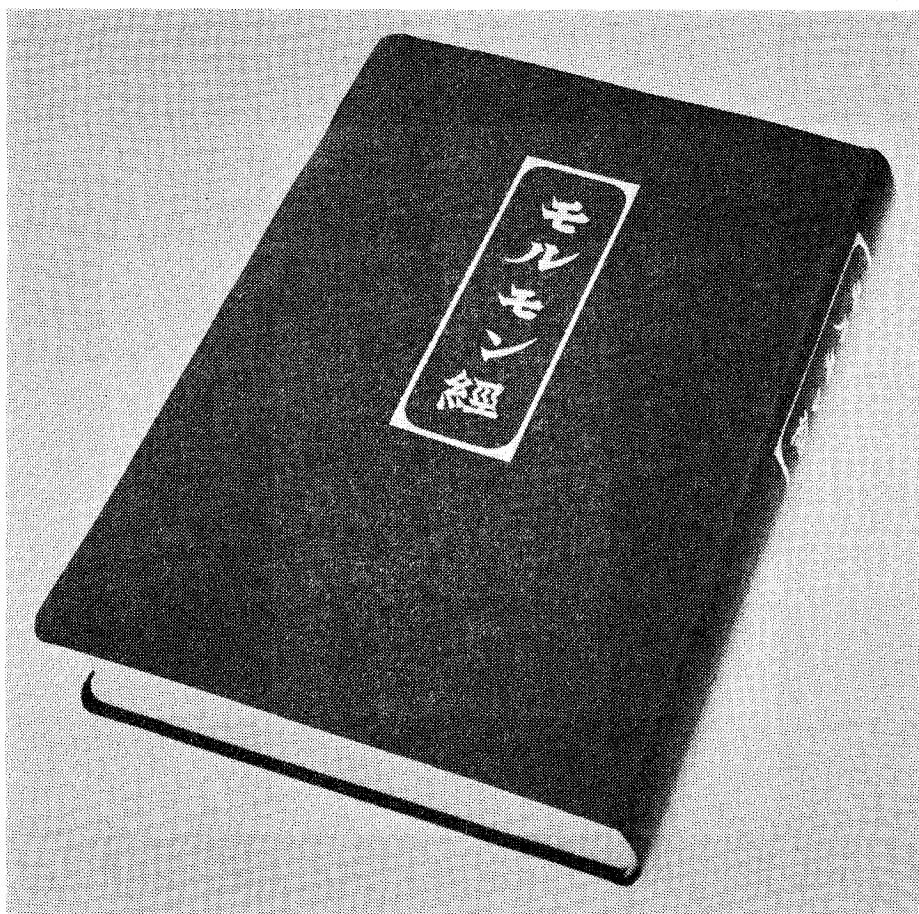
- (1) 身分登記簿と戸籍簿の二重登録制の採用

(2) 身分登記簿の記載内容

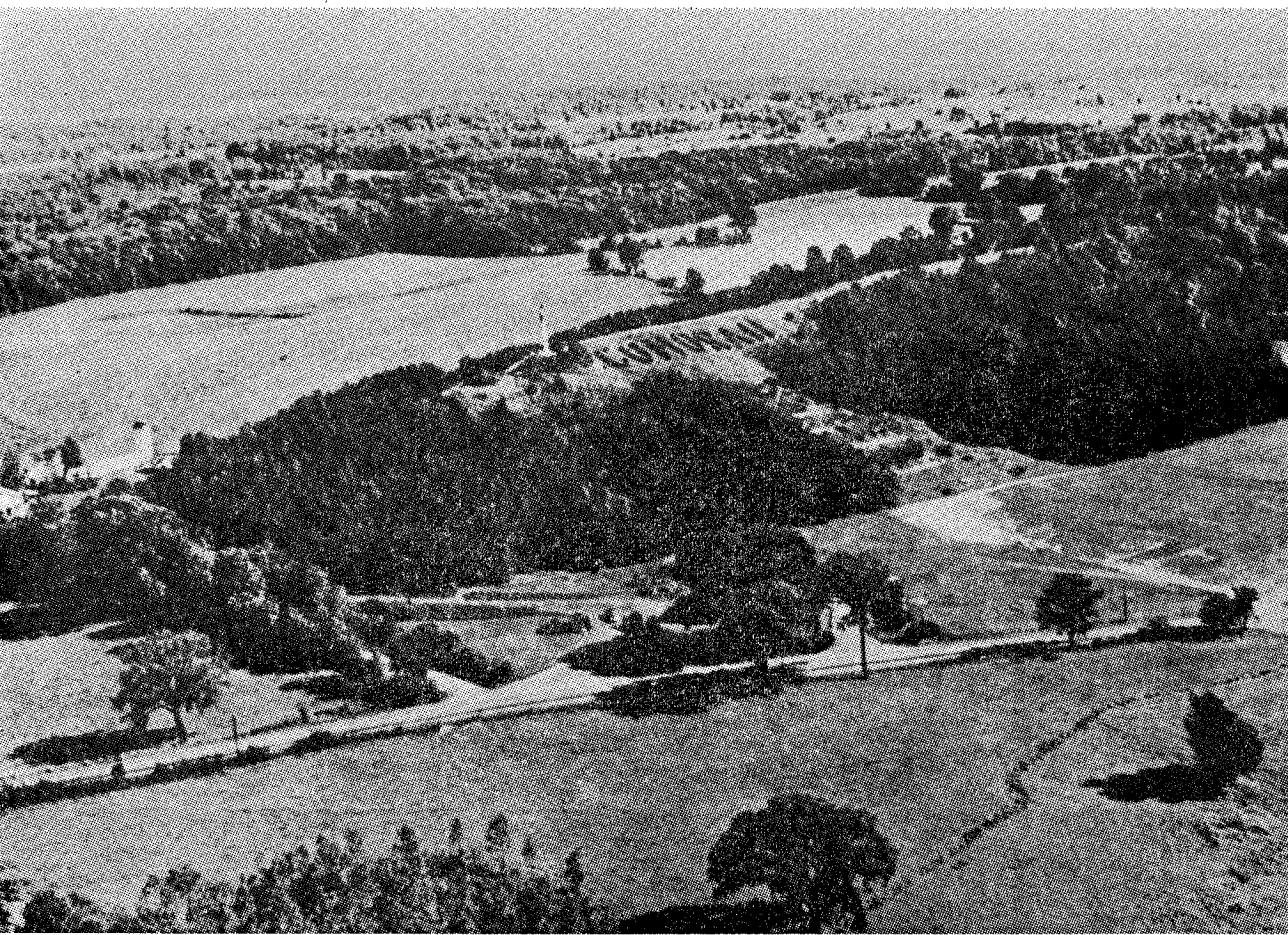
出生、死亡、婚姻その他身分の変動に関する事件を届出の順序に登記した。

- (3) 戸籍簿は身分登記に基いて記載

- (4) 戸籍役場と戸籍吏が戸籍事務を掌



一八二七年九月二十二日、ジョセフ・スミスがモロナイから金版を受け取って以来、この末の日に神の奇しき御業が明らかにされた。モルモン経はその代表的なものである。「モルモン」の語源を尋ねると、なんとアジアの民であるヘブライ語に一致するという。物を比較する時に「……よりも」「……もっと」「……より」という言葉があるが英語ではMOREと言う言葉がそれに当る。モルモンは「さらに良い」「……よりも秀いでている」などの意味がある。モルモン経が現われることにより古代の予言が成就した。ヨハネは黙示録で「わたしは、もう一人の御使が中空を飛ぶのを見た。彼は地に住む者、すなわち、あらゆる国民、部族、国語、民族に宣べ伝えるために、永遠の福音をたずさえてきて、……」(十四章六節)とモロナイ天使の訪れを見た。



クモラの丘

ジェレドの民にラマの丘と呼ばれニーファ
イの民にはクモラと言はれ二つの民は共にこ
の地でその最期をとげた。モロナイは金版を
ここに密めてジョセフに渡した。

山
田
五
郎
著

エフライムの

手にある

ヨセフの木

エゼキエルは、ヨセフの書いた木とユダの書いた木が一つに合わされることに關した予言を証した時、偉大な民ニーフアイ人の姿を出現で見た。

聖書はユダの記録、または木であることはすでに明らかであり、エフライムやマナセの民に関する記録や歴史は含まれていない。とすればもう一つの木または歴史はどこかに求めなければならない。一体どこを捜したらよいのであろうか？ しかし、現在私たちが手に持っている聖書がすでにこの予言を成就しており、予言自体はエゼキエル個人に与えられたものであり、ユダとイスラエルの二つの國に關した事柄も合わせて書き、當時の人々の前に示すものだと主張する人々もあった。エゼキエルの予言を注意深く学べば、二つの木（記録）が合わされるのは末の日でありエゼキエルの時代ではないことが解る。エゼキエルの予言で、ヨセフおよびその友はエフライムの手にある。と大変意味深い言葉を使っている。

る。エフライムは祝福により末の日にイスラエルの家の頭に立つことになっている。モロナイ天使からニーフアイ人の記録を受け取りこれを訳したジョセフ・スミスは、やはりエフライムの族である。また現在の神権時代に福音を受け入れる人の殆んどはエフライムの族である。であるから、ヨセフの木はエフライムの手にありユダの木と合わせられて、エゼキエルの予言は成就されている。

モルモン経はヨセフの記録であり、アメリカに於けるヨセフの子孫（エフライムとマナセ）の記録である。モロナイ天使によりモルモン経をジョセフ・スミスに手渡された時からエフライムの手にあり、エフライムの後の宣教師たちが全世界に向って永遠の真理を宣べ伝えんと出て行く時、エフライムの手にあると言える。

キリストに

關する知識

古代アメリカ大陸に於て全能の神から喜ばれ祝福を受けた古代の民が記した啓示や戒命の記録（歴史）が明るみに出るとことは全てのものが回復されるために必

要であった。モルモン経の予言者の一人が言ったように、地のちりの中から出る声のようではあるがキリストの証詞を叫んでいる。モルモン経の扉のページにあるように、モルモン経の記録はレーマン人をはじめユダヤ人や異邦人にイエス・キリストは神の子であることを確信させるため神の御力によって守られていた。モルモン経の始めから終りまで通してこの予言の成就は見られ、たしかにその目的のために守られ、さらに、聖典は聖い神の御霊によるものであることを証詞している。

モルモン経は すべての民に

モルモン経に記されていることは全ての國民に知られるであらう、と言う約束がなされている。ニーフアイはモルモン経の中に封じてある言葉が公に読まれる時がくる。それはキリストの権能によって読まれる（ニーフアイ第二書二七・十一）と言っている。

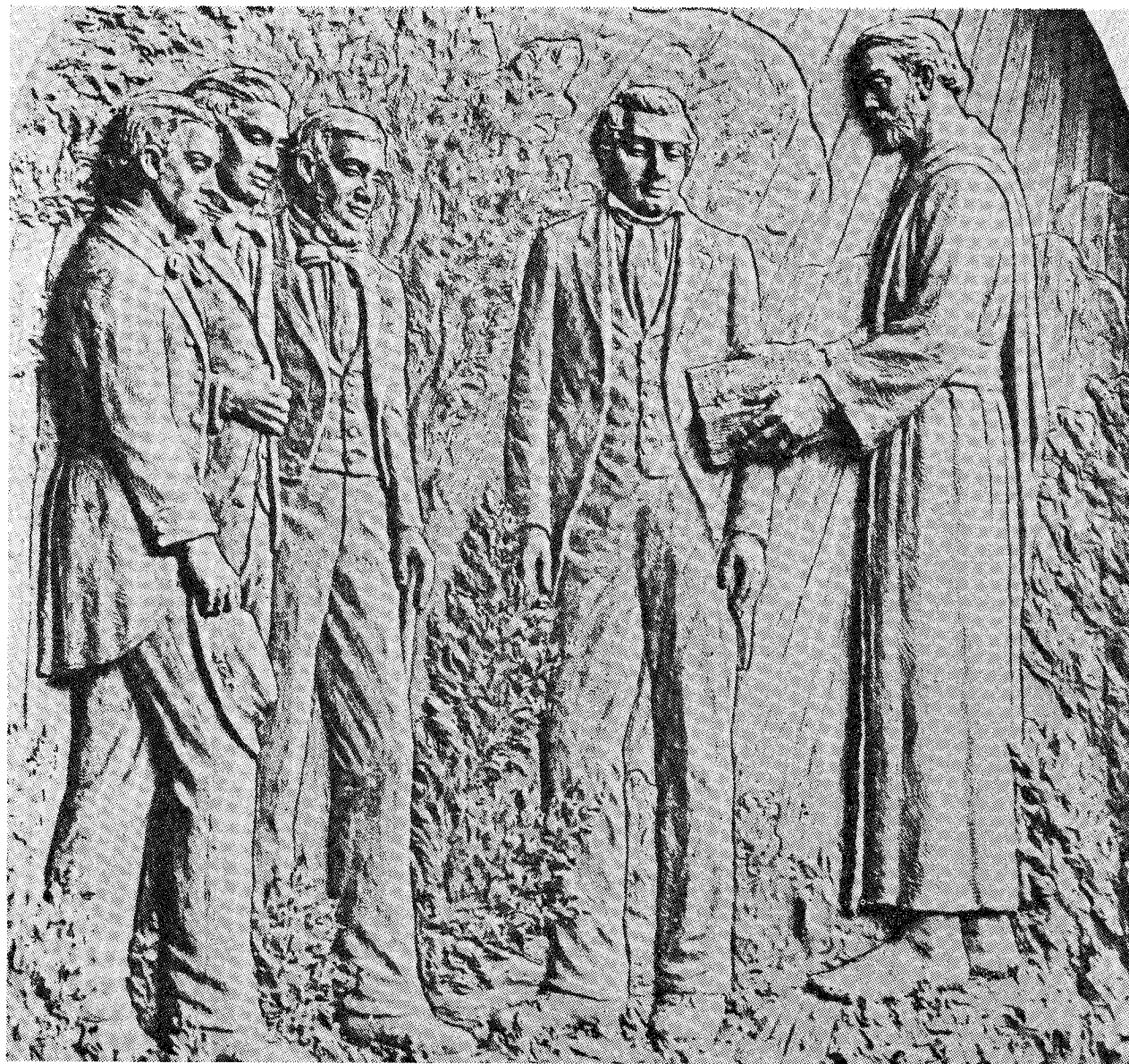
ジョセフ・スミスと見証者たちはことの真実さに深い感銘を覚えて、自分たちの証詞の言葉を全世界の人々に宛てて、

このモルモン経を手にするあらゆる國民、あらゆる血族、あらゆる國語の民およびあらゆる人々と聞きたまえ、と呼びかけ、続いて記録に対する確固たるものを言明している。もし啓示のみたまがなかったら、見証者たちはこのような証言をすることが出来なかったであらう。また、ジョセフ・スミスは、モルモン経はキリストの証詞として全世界に広まるなどと証言できなかったにちがいない。ジョセフ・スミスは、たとえ十一人の見証者が援助したとて、自分の力では決してあのように大胆な言明をする能力がなかった。もしも、モルモン経が偽りであり見証者たちが欺ったとしたら、この本はパルマイラの町から数キロにまでおよぶのがやつとであったにちがいない。

一八二三年九月モロナイがジョセフ・スミスに現われた時、モロナイはジョセフの名は、あらゆる人々の中に善くも悪しくも語られるべしと言われた。今日、この言葉は成就されていないと言う人は誰れもない程である。モルモン経に関する知識もあらゆる國民に浸透して来た。どこへ行ってもジョセフ・スミスの名は知られ、その名の知られる所にはモルモン経もまた知られている。誰れでもこの書物を読めば神のみたまにより書かれたものであることが解る。そして受け入れるであらう。



1827年9月22日 モロナイ天使はジョセフ・スミスに金版を渡した。



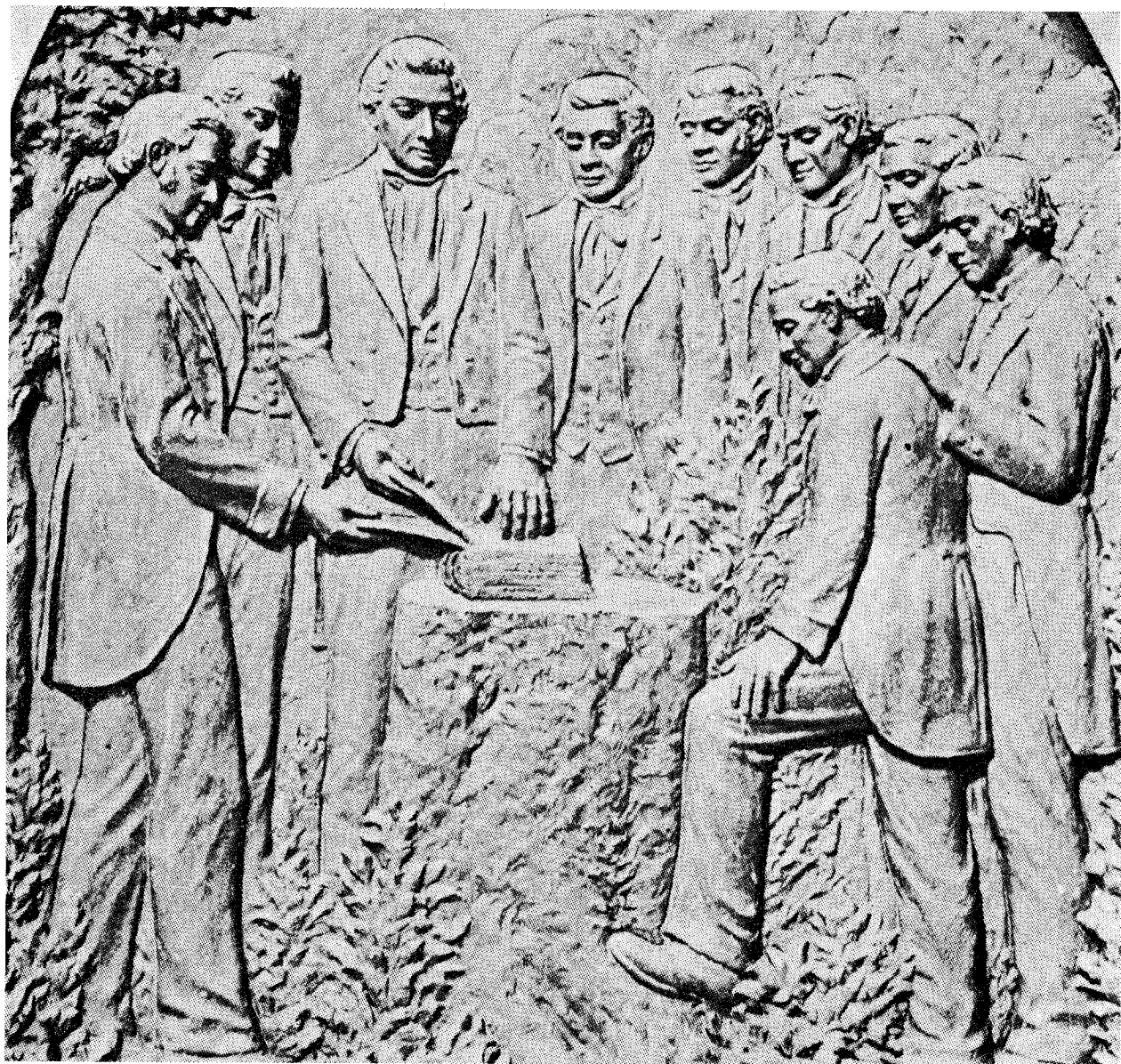
3人の見証者 オリヴァ・カウドリ、デビッド・ホイットマー、マーテン・ハリス

他の羊

古代アメリカに住んでいた人々に対する暗示の中でもう一つの大切なことは、救い主がなくなられる少し前に語られた言葉である。「わたしはまた、この囲いにいない他の羊がある。わたしは彼らをも導かねばならない。彼らも、わたしの声に聞き従うであろう。そして、ついに一つの群れ、ひとりの羊飼いとなるであろう」(ヨハネによる福音書十・十六)

多くの人にはこの言葉の意味は主が異邦人のことを言っているのだと思われていた。が、主は、御自身で異邦の所へ遣はされたのではなくイスラエルの家の失われた羊のところに行くのだと言われた。

他の羊と言われた時、主はパレスチナに居ないイスラエル人のことを意味し、他の羊を訪れたのは主が復活なさった後であった。主は、この他の羊を訪れることに關して此の少し前になって明らかにされた以外の福音書を見ても他に引用されてない。主はニーフアイ人を訪れた時、他の羊、とはニーフアイの民であることを明確にされた。エルサレムの人々と使徒たちの固くなな心の故に、天父は主



八人の見証者

クリスチャンホイットマー
 ジェコブ・ホイットマー
 ピーター・ホイットマー (二代目)
 ジョン・ホイットマー
 ハイラム・ページ
 ジョセフ・スミス (初代)
 ハイラム・スミス
 サミュエル・エッチ・スミス

にこれ以上アメリカ大陸へ導かれて行ったニファイの民に関しての教えを与えないよう戒められた。もし、エルサレムの人々が主の御意志をもっと知り学ぼうとする心があったなら、失われたイスラエルの家の羊と、主の御業に関する事柄をもっと多くそして明確に教えられていたであろう。そんなわけで、モルモン経とパレスチナ以外の地にある主の民に関する数々の教えと説明はその真意が隠されて表現されている。

EXHORTATION OF MORONI

AND WHEN YE SHALL RECEIVE THESE THINGS, I WOULD EXHORT YOU, THAT YE WOULD ASK GOD, THE ETERNAL FATHER, IN THE NAME OF CHRIST, IF THESE THINGS ARE NOT TRUE, AND IF YE SHALL ASK WITH A SINCERE HEART, WITH REAL INTENT, HAVING FAITH IN CHRIST, HE WILL MANIFEST THE TRUTH OF IT UNTO YOU BY THE POWER OF THE HOLY GHOST.

MORONI 10:4

クララの丘にあるモロナイ像の碑文から

聖書は

モルモン経を

証詞する

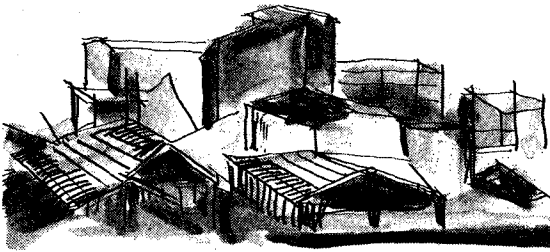
古代アメリカ大陸の住民に与えられた救いの教えとしてのモルモン経は聖書に對して神の教えであることを証詞している、と言うことは聖書のどこかにモルモン経に對して予言をなし証詞しているはずである。もし聖書がモルモン経に對して何にも触れてないとすれば、ニーファイの民が書き記した証詞に重大な欠陥をもたらすことになる。

創世記に記されているように、イスラエルが息子ヨセフと孫のエフライムとマナセに与えた祝福は未来を僭越したものであり、ヨセフ、エフライムやマナセはイスラエルから遠く離れた地を受けつぎ、偉大な国民となることを言っている。ヨセフは受けつぎの地を「恒久の山の限極にまでおよばん」(文語訳、創世紀四九・二六)そしてヨセフは実を結ぶ若木、泉のほとりの実を結ぶ若木。その技は、かきねを越えるであろう。「創世記四九・二十二〜二十六参照」と。その上にヨセフは、パレスチナの地を受けつぐ

先祖よりも大いなる地を受けると約束された。

モルモン経は、ヨセフの子孫の記録であり「多くの水」を乗り越えて地のはての恒久の山を受けつぎこの地上の全ての地に勝るアメリカの地を受けた。

言うまでもなく、このような祝福の実現はパレスチナの地ではできない。



モロナイの勧告

またこの記録を受ける時、それが真実なものかどうかをキリストの御名によって永遠の父なる神に問え。もし誠心誠意でその上キリストを信じながら問うならば、神は聖霊の力によってこの記録が確かなものであることをあなたたちに示したものにちがいない。

(モロナイ書十・四)

クモラの丘にあるモロナイの銅像にある碑文から。

証

船越瑞恵



私は今、多くの人々の助けによって、宣教師として働く機会があります。神の計画された偉大な救いについて述べる事は、本当に素晴らしい事です。アルマ書の中に、「人が神に仕えたいと思うならば、神に仕える特権がある」という聖句があります。確かに、神を信じ仕えたいと望むならば、私達には、その特権が与えられます。それは何物にもかえがたい価値ある特権です。

今、恵まれて私にはこの特権が与えられています。しかし、もし私の姉がこの教会の宣教師に、私を会わせてくれなかったなら、この喜びを味わう事が出来なかつたばかりでなく、この真の教会を拒みつけていたことでしょう。私の改宗には、姉の信仰が大いに私を助けてくれました。

十数年前、私は学校から勧められ、広島支部の近くにあるプロテスタント教会に行っており、私の姉は当時、まだ教会員ではありませんでしたが、キリスト教に対して、深い関心を示し、私にその教会に連れていってくれるようにたのみました。しかし、私は、教会にはただ何となく学校で習った事を復習しに時々行っているような状態で、彼女のように強く信じたいと気持ではありませんでした。また、教義的に差程ひかれるものも見出しておりませんでしたので、彼女は私を連れて行くことに對してとまどいを感じそのまゝになっておりました。待ち切れなくなった姉は、長老たちの訪問を受けたことを機にバプテスマを受けました。私たちはよく、教義の問題でけんかしました。しかし、今考えるところの中から私は、段々とモルモンに對する理解を深めていったのではないかと思います。しかし、私はかたくなに拒否し続けました。社会に出てから、私には嫌な毎日が続きました。現実と理想の矛盾は、私を意固地な変った娘に変えて行きました。そんな日が続いていた時、突然姉は長老たちを家につれて来ました。家族の誰かが聞きたくないというので、結局末っ子の私に白羽の矢が立ち、いやおうなしに、長老たちの前に引張り出されてしまいました。それから一ヶ月余り、私の心は次第に洗い流され、神の導きの素晴らしさに感動しました。神は確かに生きていらつしやいます。そして必ず祈りに答えて下さいます。あれほど、頭から馬鹿にしていた私にさえ、求めた時に答えて下さいました。本当に素晴らしい神の愛を感じる事ができました。

ヨハネは「わたしの子供たちが真理のうちに歩いていることを聞く以上に、大きい喜びはない」といいました。ましてや、天の父なる神様は、強くそう望まれています。神は、私たちか再び神の許にかえり、永遠の生命を受けることが出来るように、私たちに愛を与えて下さっています。私たちはその愛に答えるべく、誠命を喜んで守りたいと願っています。教会を理解出来ない人々には、私たちが安息日を聖くすごしたり智恵の言葉や、他の誠命を守っていることは、時間の無駄、お金の損失と考えるかも知れません。そしてもっと人生を楽しむようにと言うかも知れません。私はその人々にこのたとえ話をしたいと思っています。

チューリップの花で有名なオランダは、世界各国に、優秀な球根を輸出しています。さぞかし花畑はきれいだろうと想像しますが、業者は、まだ花が充分に咲かない内に、おしげもなく全部積みとってしまいます。何故なら、良い球根を取るためには、花に行く養分もすべて根に集めなくてはならないからです。

これと同じことが私たちの人生に言えるのではないのでしょうか、恵まれて与えられたこの人生を、この世間的な快楽に費やすことは、丁度美しい花もいつか散ってしまうように、取るに足らない一時的のなぐさめです。その花を犠牲にして、これに費

やす、すべての力を、福音に吸収する事、それは、良い球根を養う。すなわち永遠の生命を得るための素晴らしい準備です。私たちの生きる目的は、福音なくしてありません。また、この教会なくしてありません。私は確かに、神の選ばれた予言者ジョセフ・スミスによって、この教会が回復された事を信じております。

この伝道を通して、神のより豊かな愛と導きをいただいておりますことを心から感謝してこの証詞と共に、すべてイエス・キリストの御名により申し上げます。アーメン

先祖の救い と私の証

高橋勝俊

系図のために進んで働くとき、何時も多くの証しを得られることを多くの兄弟姉妹より聞きます。これは誠に主が善しとされお喜びになられ導きと祝福と証しを授け給うからに他ありません。

此の度び仙台支部の兄弟と共に私も私の妻の分と共に系図十二枚、家族の記録二十七組（直系だけ）を系図協会に提出することができました。この記録を集めるのに繁々、暇を見て丸五年の年月がかかっており、市役所、町役場、村役場を探ねたのが約十回近く、親戚を訪問したのが数回と親戚よりの援助を受けたり、寺を訪ね墓を調べたのが何回もありました。

私の場合は仙台周辺だけで以上の記録が得られましたが、遠く離れてる場合、もっと非常な困難が伴うことでしよう。此の度び提出した記録はわずかです

が、何時の日か残った直系と傍系を調べて、できるだけ多くの先祖の記録を提出したいと思っております。

しかし私が自分の先祖の救いのために働いたとき、普通のピクニックや旅行をした時とは違った靈感と不思議な程の主の導きと証しと亡くなった先祖よりの授けのある事を経験することができ、その全部の経験を書くことはできませんが、その中の二、三の証しを述べたいと思います。

或る時、私の父の父の母の系図を調べに仙台的七郷支所に行ったことがあります。支所でその該当する住所に曾祖母（GGS）の姓を見付けたのですが、曾祖母の名が出て来ません、折角来たのだから傍系を調べて行こうと思いましたが、それを証明することもできませんでした。閲覧していた除籍簿を返すとき係りの人に良く探ねて見ましたら、二、三人の人と打合せ話してくれましたその内に現在その家は誰れ誰れさんの家だと謂うことが解り、その御主人は農業ですが宗教に関心を持たれている人で坊さんの資格

をとったとか末だとか、そんな話をしてくれましたので、きっとその家に違いないと思い、その家を探ねましたら、矢張り私の探していた家であり、その時は大変忙しい仕事をしていたので後日、伺いましたところ大変、喜んで迎えてくれ、御自分（3C、三世従兄弟）で精しく調べ書かれてあった先祖の記録や系図を見せて頂き、その中に始めて私の探していた曾祖母の名前が出ておりました。そして良く先祖のことや色々興味ある面白い話を聞き知ることができました。それからまた多くの先祖探求の手づるを見出し

ました。また或る時、私の母の父の父の父を調べようと親戚を探ねて行つたとき、その家のお母さん（GGS、義叔祖母）と娘さん（ICIR、従叔母）が居て、私の身分と訪問の理由を説明している内、私の霊界と謂う言葉や死者の救いと謂う言葉に共鳴されたようで座敷に上って話している内に、私の兄さん（ICIR、従叔父、四十才くらになられる人）も先祖の救いと謂うことについて大変、関心

を持っており、日蓮宗の先祖の救いに関する派に属しており今年の春、仙台に帰って来て関係ある方々の寺を探ね、故郷を訪問し、先祖の記録を集めて行つたし、その記録を私（その娘さん）は今年の八月、塔婆にその死者の記録を書き肩に背おい山形の出羽三山に奉納し当山の僧侶によって供養して来たと謂う。私がその家を訪問したのは十月で、そのめぐり合わせに大変喜ばれ、そのために私の兄さんが三月に先祖の記録を調べ私は八月に出羽三山に参詣し先祖の霊と会いみえ、ここに貴方の教会にこの記録が役立つのは本当に嬉しい、よろしく願いますとその記録を提出されました。そこからまた多くの先祖の探求えの糸口も開けて来ましたし、後日この話を系図委員会々長の渡部兄弟にお話ししましたら、出羽三山は日本でも有数の霊山であり、本当のミイラの沢山、出たところであると云われた。本当のミイラとは生身を以って得心成仏、粥をすすり、やがて五穀を断ち、うるしを飲んで成仏しミイラになる、これが本当のミイラと謂う。また出

とにかく系図探求をして、市役所で役場で或いは親戚で或いは偶然のように色々な面白い経験をし証しを深めました。

一八三六年四月三日にカートランド神殿でエライジャによって渡された神権の鍵と精神は生きており援けております。今年の目標の一つに三代七枚のファミリーグループ、シート提出の計画があります。この計画を日曜毎に出席する全教会員が実行したら、日本にはすぐ神殿が建ち一九〇一年にヒーパー・J・グランド長老を含む一行四人が日本の地に対する主えの祈りと祝福はここに完全な姿をもって実現することでしょう。そして増々、この日本の地に豊かな主の祝福が現われてくることを信じています。

これ等のことを全て御子イエス・キリストの御名によって申し上げます。アーメン。

見証者に関する神の律法

ジョセフ・フィールディング・スミス

私は今日ここに出席出来たことを心からうれしく思い、主の「みたま」が私の語る間に、私と共に宿るよう心から祈っている。私は話をするように頼まれた時「見証者に関する神の律法」についての問題を取りあげる決心をした。これはあまり一般によく理解されていない事柄である。

まず第一に、私はイザヤ書中の主の御言葉を注意してみたいと思う。「エホバ宣わくわが思はなんじらの思とことなり、わが道はなんじらのみちと異なれり」(イザヤ書五十五章八節)人間の考へる方法と主の考へ給う方法は常に一致調和するとは限らず、私はこのことについてまず証明したく思う……。ある時、救主イエスがユダヤ人と話をされていた時、彼らはイエスをいつわりの教師だといつて訴えた。何故ならイエスは、イスラエル人に与えられた律法に従わないからであるというのである。この時如何なる人も主イエスのために弁護せず、主は自ら御自分について証された――。私は次の言葉を読み度いと思う。

パリサイ人ら言う「なんぢは己につきて証す、なんぢの証は真ならず」イエス答えて言ひ給う「われ自ら己につきて証すとも我が証は真なり、われ何処より来り何処に往くを知る故なり。汝らは我が何処より来り、何処に往くを知らず。なんじらは肉によりて審く、我は誰をも審かず。

されど我もし審かば、我が審判は真なり、我は一人ならず、我と我を遣し給ひし者とともなるに因る。また汝らの律法に、二人の証は真なりと録されたり。

我みづから己につきて証をなし、我を遣し給ひし父も我につきて証をなし給う。

ここに彼ら言う「なんぢの父は何処にあるか」イエス答へ給う「なんぢらは我をも我が父をも知らず、我を知るならば、我が父をも知りしならん」(ヨハネ伝八章十三節―十九節)イスラエル人に与えられた律法は、何事も一人の方の証詞のみによって受け入

れられるべきではないというのであった。人は罰せられる前に二人の見証者がなければならぬ――。同様に、福音の宣べ伝えられる所に於ては何処であつても、真理に関して証するものは二人なければならぬ。これがイスラエル人に与えられた律法であつた。

我々はエノクの場合について多くの事柄を知らないが、疑いもなく、彼と共に見証者となつた人は多くいたと考えている。何故なら、彼のみで、即ち、他の人の援助なしに、人々を統合する大いなる事業を完遂することは出来なかつたからである。我々の大部分は、大洪水の発生について証した人はノア一人であつたといふことを考え、説教に於ても、我々はノアとノアの証詞について、また人々が如何にノアの言葉を拒否したかについて語るのであるが、ノアは決して一人ばかりではなかつた。彼は、彼自身と共に同様に証詞たてたところの忠実な息子たちを持つていた……。更に、彼には、証詞を立てた父、また同様に証詞を持ち、且つ洪水の年まで死を味わなかつた祖父

も居た。故にノアは決して一人ぼっちの見証者ではなかつた。

モーセも一人ではなかつた。主はアロンを彼の代弁者としてお遣わしになり、彼にモーセがイスラエル人を束縛の境遇より導き出す様召し出されたということを見証させた……。また歴史の全段階を通じて、我々は常に二人の見証者が必ず存し、またある時には、イエス・キリストの福音を証する二人以上の見証者が居つたといふことをも知ることが出来る。ルカ伝第二十四章に、救主が復活後、二階の部屋に集まつていた弟子たちにお現われになつたといふことを見出すが、この時、主は彼らがよく理解出来るように彼らの耳と目を開きたまい、次のように仰せられた。

我が手わが足を見よ、これ我なり。我を撫でて見よ、靈には肉と骨となし我にはあり、汝らの見るごとし」斯く言いて手と足を示し給う
かれらは歡喜の余に信ぜずして怪しめる時、イエス言いたまう「此処に何か食物あるか」かれらあぶりたる魚一片



を捧げれば、之を取り、その前にて食し給えり。

また言い給う「これらの事は我がなお汝らとともに在りし時に語りて、我に就きモーセの律法予言者および詩篇に録されたる凡ての事は、必らず遂げらるべしと言ひし所なり」

爰に聖書を悟らしめんとて、彼らの心を開きて言い給う「かく録されたり、キリストは苦難を受けて、三日めに死人の中より甦えり、且その名によりて罪の赦を得ざる悔改はエルサレムより始まりて、もろもろの国人に宣伝えらるべしと。汝らは此等のことの証人なり。(ルカ伝二十四章三十九節—四十八節)

ペテロは、最早キリストの教を説き

明かしてはならないと命じたユダヤ人の指導者の前に召し出された時、自分とヨハネ、及び他の十二使徒は、自分たちがイエス・キリストの復活の見証者であるということに証した。

主は三人の使徒を連れて山へ登られた。我々はこの山を愛ぼうの山と呼んでいるが、主は彼らに命と神権を与えたまひ、教会の大管長会として行動するよう権能によつて聖任したもうた。ある人たちは、その当時に教会の大管長会があらう筈がないというかも知れないが、ペテロ、ヤコブ、ヨハネは、この山上にて神権の鍵を附与され、彼らと他の十二使徒はイエス・キリストの見証者となった。

さて、ではこれから今日の時代の事柄について調べてみよう。ジョセフ・スミスが最初の示現を受けた時、彼は一人であった。これは、主にとつて、一人の人のみに御姿を現わし給うことが必要であったからである。モロナイがはじめてスミスに現われた時も、彼は一人であった。しかし、天使を見、モルモン経について証詞するための方法が三人に開かれた時、予言者スミスは帰宅し、大きな重荷が私の肩からおろされたような感じがすると云った。最早、大きな責任を一人で背負う必要がなくなったからである。即ち他の三人が、予言者ジョセフ・スミスと共に福音の回復について見証するよう召されたのである。

更に、神権が回復された時、ジョセ

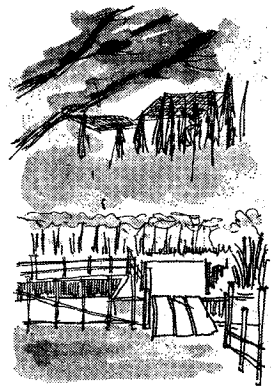
フ・スミスのみが鍵を所有し、按手聖任を受けるばかりでなく、他の見証者にも与えられることが必要であった。即ち、オリヴァ・カウドリは歴史の示す限りに於て、神権の回復された時、神権の鍵が回復された時にいつでも、ジョセフ・スミスと共にあった。バプテスマのヨハネが来訪した時も、彼はジョセフ・スミスとオリヴァ・カウドリに現われて、彼は、二人にアロン神権を附与し、またペテロ、ヤコブ、ヨハネもジョセフ・スミスとオリヴァ・カウドリの二人に現われ、二人は彼らから神権の力のための鍵を与えられた……。かくの如く、予言者は決して一人ではなかった。その他の啓示が与えられた時も、それらは、すべてジョセフ・スミスとオリヴァ・カウドリの二人に示されたのである。カートランド神殿にモーセが現われ、彼はジョセフ・スミスばかりでなく、オリヴァ・カウドリにイスラエル人の集合の鍵を与え、エライアスも現われてジョセフ・スミスとオリヴァ・カウドリにアブラハムの神権の鍵を授け、更にエライジャは教会の第一、第二長老であるジョセフ・スミスとオリヴァ・カウドリに來訪した。かくの如く、鍵が予言者に与えられた時にはいつでも、それらの鍵はオリヴァ・カウドリにも附与されるのが常であった。

(教義と聖約百十章)

このためには一つの理由がある。「さてまた見よ、われ汝とまたわが僕ジョセ

フとにこの賜の鍵を与う。而して、それはこの神のために仕うる仕事を世に明らかにするものにして、二三の見証者の口によりてそのあらゆる言は確實なものと定められん。(教義と聖約六章二十八節)

ジョセフ・スミスはこの神権時代のはじめ、一人で立つことは出来なかった。即ち、もう一人の見証者がなければならずオリヴァ・カウドリが、その他の見証者として召されていたわけである。故に換言すると、オリヴァ・カウドリは教会の大管長補佐であった。オリヴァ・カウドリが忠実であったなら、予言者スミスが殉教した時に、必ず、教会の大管長として召されたにちがいない。けれども、オリヴァ・カウドリは罪を犯し、その職務を失ったので彼に代つて一人の人を任命する必要が生じた。教義と聖約百二十四章の中に、筆者の祖父であるハイラム・スミスがオリヴァ・カウドリに附与されていたすべての鍵と権能を受け、オリヴァ・カウドリに代つて教会の第二長老、及び大管長補佐となつたと誌されている。ブリガム・ヤング大管長も次のように云っている。「ハイラム・スミスは生きていたなら、必ず教会の大管長になつたであらう」(教義と聖約百二十四章九十五節)と。彼はすでに教会の大管長代理であった。従つて、ジョセフ・スミスの時代には、教会には二人の大管長としての役を持つ人が居り、彼はすでにその様に按手聖任されていた故、特に按手聖



いるわけではないが、しかし、これは一八三四年十二月五日の宣言の本質であり次にオリヴァ・カウドリに与えられた職務を説明する予言者スミスの言葉をのせる。

大管長代理の職務は、順序と任命に従って大管長不在の時に全教会を管理する援助を与え、司どることである。例えば、カウドリ大管長代理が第一、リグドン大管長代理が第二、ウィリアム大管長代理が第三と、別々に召されたのである。この神権の職務は、例えばアロンの如く、代弁者として行動すること、前述の神権の美点は天の国と鍵と教会の園土とを保持することである。

任される必要はなかったのである。さて、このことは一般によく理解されている問題とは考えられないと思われる故、主オリヴァ・カウドリと大管長代理の義務に関して予言者ジョセフ・スミスに語られた御言葉を読んでみたいと思う。「教会の歴史」、一八三四年十二月六日のところに、次の如く書かれている。「オリヴァ・カウドリは、ジョセフ・スミスと、主の御命令により、ジョセフ・スミスと共に大管長会の鍵を所有する大神権の大管長代理として聖任された。このことは、ジョセフ・スミスがバプテスマのヨハネ、ペテロ、ヤコブ、ヨハネより受けた按手聖任と一致するものであった。私は正確な言葉をそのまま引用して

——この二人はこの神権時代の鍵を持ち自らの血を流すことによって、世の人々に対してこの証詞を確実なものとしめた。

さて、見証者に関して諸君に注意して戴かねばならないもう一つの事柄がある。他の国々から来る訪問者の多くは、しばしばこんな質問をする。「モルモン経の金版はどうなったのですか」と、その時、我々は「天使がそれを持ち帰りました」と答えるが、彼らは嘲笑のまなこをもって、「勿論でしょう。でも『ほりもの』のしるある金版が今ここにあれば言語にすぐれた学者に見せることが出来るでしょう。そうすれば、彼らはそれを読んで各々の言葉の一つ一つを確実に発音するでしょう……そして、全世界の人をみな改宗させることも出来ましように……」と云うだろう。一般の人々はみなこのように考える——。故に主の御方法と人の方法が常に同一のものであるとは限らないということの意味する聖句に諸君の関心を惹起せしめたいと思うのである。私は次の話をし、それから、その結論を読みたいと思う。

諸君は富める男とラザロの物語をよく知っているであろう。ラザロはこの男に助けを求めたのであるが、彼は何ら助けを得られなかった。富める男が死に、ラザロも死んだ。けれども二人は同一の場所へは送られなかった。富める者はラザロがアブラハムと共に居るのを見、アブ

ラハムを呼んで、次のように云った。「父アブラハムよ、我をあわれみて、ラザロを遣し、その指のさきを水に浸して我が舌を冷させ給え、我はこのほのおのなかに悶ゆるなり」とすると、アブラハムは「其処より我らに來り得ぬために、我らと汝らとの間に大なる淵定めおかれたり」と答えた。この富める男が、また「さらば父よ、願くは我が父の家にラザロを遣したまえ。我に五人の兄弟あり、この苦痛のところに來らぬよう、彼らに証せしめ給え」と云うと、アブラハムは云う「彼等にモーセと予言者とあり、之に聴くべし」富める人いう「いな父アブラハムよ、もし死人の中より彼らに往く者あらば、悔改めん」アブラハム言う「もしモーセと予言者」とに聴かずば、たとい死人の中よりよみがえる者ありとも其の勧めを納れざるべし」。(ルカ伝十六章参照)

これらの人たちは、「諸君が金版を私たちに見せてくれないから、諸君の話を受け入れるわけにはいかない。若し諸君が金版を持っているなら、ある学者たちは手に取り上げて読むことが出来、そして、ジョセフ・スミスが真実の話を語ったことを知るであろう。かくして、諸君は全世界の人々をすべて改宗することが出来るであろう」と考えるかも知れない。しかし、これは決して出来ないことである。これは、主の考えたもう方法では無い。主がこれらの金版をここに置き

たまい、学者の学び得るような博物館に据えられたなら、彼らは互いにこの金版について口論し合い、これらはみなまちがった、いつわりのものであると云うであらう。そして世界の人々を改宗させるどころか、彼らは金版を信ぜず、決して受け入れないであろうと主ははっきり知っておられた。主は、人間の考えとは全く異った方法をお持ちになり、金版の見証者を通して改宗者を得るであろうと云われ、ニーファイもモルモンについて、またモルモン経が世にあらわされることについてよく書き誌している。

それであるから、その書物は今私の言った男に授けられる時に、世の中の人の目につかないように陰される。従って、その書物を授けられる一人のほかに三人の見証者が神の能力によってこれを見ることができ、そのほかには誰一人これを見ることができない。そして、この三人はその書物とその中に書いてあることが確実である証をする。このほかにはその書物を見ることのできる者は、ただ神のみここに従って世の人々にその言葉の証拠を立てる数人の者にかぎられる。主なる神の言葉に「真実なる者たちの言葉は、あたかも墓より語る声の如くに語って証を立つべし」とある。それであるから、主なる神はその書物の言葉を現わしたまい、またその数が十分であると思いたもう証人たちの口を借りて、その言葉を確実なものとなしたもう。従って、

神の言葉を認めない者は禍である。(ニーファイ第二書二十七章十二節―十四節)更に、イテル書の中に予言者ジョセフ・スミスに与えられた、ある種の勧告が示されている。

さて、これで私モロナイは私に命ぜられたことを記憶するままに書き記した。また私が封じたものについては、もはやあなたに話してあるから、あなたは封じてある所を譚訳するために手をつけてはならない。それをする事は今あなたに禁じてあるが、後から神はこれをみこころによって許したもう。その時あなたはこの經典を世に現わす業を助ける者たちにこの版を見せることを許される。そして神はその御力によってこの版をほかの三人に見せたもうから、その三人はこの記録が真実であることを確に知る。(イテル書五章一節―三節)

そして、予言者ジョセフ・スミスは、封じられる部分の印を破るべきではないと命ぜられたのである。

さて、ここでもう少しの言葉をつけ加えよう。救主は学者達の前に連れ出されたが、彼らは、救主が死んで再び生きかえるなどという事を口に出して語ったというので、ひどくイエスを非難し、またイエスは神を冒瀆する者であると云って起訴した。そして、彼らはイエスをピラトのところへ連れ出し、更に責めた。ピラトもイエスを罪あるものと見なし、イ

エスを十字架に掛けるために人々に渡した。さて、モルモン経に關しても示されてある如く、人間の考えによれば、救主は、三日目に墓より出て、まず最初に行かれたところは「学者たちの所」である。

そこでイエスは、これらの学者たちに向かい、「私は死より再びよみがえるとたしかに語ったではないか。だから今私はよみがえってここに居る。私の手、私の横腹、足をみなさい。そして傷があるかどうか調べてみよう」と云われたということであらう。しかし、イエスは彼らのところへは行かれなかった。また、ある人たちははじめに、イエスはピラトのところへ行き、ピラトをびくつきさせてから、非難の言葉をもって、『貴方は私に私が神の子であるか、どうかと尋ねた。私はその目的のためにこの世に來たと貴方に言った。貴方は私を死刑に処したが、今はここに居る。さて、貴方は納得しようとしているか』と語ったであらうと考える。しかし、イエスは実際にピラトのところへ行かれたであらうか。

否イエスはピラトのところへも行かれなかった。イエスの行かれたところはイエス我自身に反対した人たちのところではなく、むしろ謙遜な、まづしい魚取りのところであり、そして、そこに居られる時、数人をお集めになって、自分の手足の傷を示され、また横腹に手を差し入れてみよと云われたのである。これがイエス御自身の言われことで、決してイエス

を信じない人たちに語られたものではなかった。

イエスは忠実で、信仰あつた婦人にもお現われになった。また主に仕えたとの聖約をした人たちにお現われになったが、パウロを除く、他の不信神者に現われた例は一つもない……。パウロの場合は、イエスがこの教えを広めるためにパウロを必要としたからであり、パウロの心の正しいことを知っておられたが故である。これが主の取りたもう方法である。即ち、主イエスは僕たちを選びになり、彼らを世界に福音を宣べ伝え、悔改めを叫び、イエス・キリストの使命を証しするようにお送りになるのであってこの証詞を拒否する者は、そのためにの責任を取らねばならない……。主が天の真中であつて、僕たち「天使」をこの世に來らせ、地上のどこにあつてもすべての人に悔改めを呼ばせて、ジョセフ・スミスが神の予言者であることを語らせるのは、容易なことではないであらうか。しかし、これは主の取り給う方法ではない。我々はこの世に試練を受け、更に、信仰によって歩むことを試されるために來た……。主は決して我々を理解、証拠なくしておきざりにされたもうたのではない。

家族活動の時期

家族のタベテキストつづき

「目標」

家庭内の愛と結合を強化し、過去十一週間の教えを家族にとって興味あるような方法で、補強する。

「幸福な家族関係を打建てる」

過去数週間の家族の勉強時間及び活動時期の主な目的の一つは家族内の愛と協力精神をもたらし、家族外の愛と協力精神をもたらし、家族外の他人との関係は後編に於て強調されるでしょう。家族と云う単位は社会の根本であって人が若しその家庭内で幸福な関係を保持することが出来るなら、家族外の人とも上手に交際出来るでしょう。多くの家族が共に何年間も暮らして居りながらお互に眞の同伴者に到達していないのです。各人が家族の他の者と親密に結び合うことなく只自分の必要を充たすため自分の道を歩いているのです。若い子供たちは心然的に自己中心になります。が、ただ、だんだんと教えられて個人的な望みを団体の利益に従わせるようになるのであります。家庭はこれを学ぶに最も適した処であります。家庭でこれを学ばなかった子供たちは、全生涯を通じてこのような人間的

な関係をつくるのに非常な困難を感じるのです。すべての家族が家族の者の間の愛と理解を改善することが出来るのであります。この活動の時期に於ては、今迄学んだことから、お互に他の家族員の性格を探究する機会が与えられるのであります。十代の少年が彼の家族と共にゲームをした後で言いました。「僕はお父さんがこんなに素敵な人だとは知らなかった」彼は始めて父親のユーモアのある感覚を発見しそれを称讃したのであります。

このレッスンで貴方の目標である貴方の家族の愛と団結を達成するかどうかは大部貴方がそれをどのようにに処置するかにかかって居ります。貴方は今度は家族と共に過すことを心から楽しんで居ることを示しなさい。彼らにゲームや歌やリフレッシュメントのサービスなども順番に担当させて、彼らに対する尊敬の念を示しなさい。子供たちの提案または回答を尊敬の念を以て扱ひその過ちを非難してはなりません。活動中に貴方が過つた時には彼らと共に笑つてくつろいだ楽しいふんいきをつくるようにしなさい。

「活動を貴方の家族の必要な状態に適合させなさい」

この時期の活動は今迄の十一のレッスンに立腰して居ります。若しも貴方が家族と共にレッスンをしている時に、活動のための考えが心に浮かんて来たらそれを用いるかまたは貴方が必要と感じられるなら、次の提案を採用しなさい。与えられた提案は如何なる大ききまたは年令の家庭にも採用出来るのであります。

「私たちは天父によって創られたものから天父を知ることをが出来ます」

提案その一
過去六週間私たちは、私たちの天父を知ろうと努めて来ましたが。彼をよりよく知る一つの方法は彼によって創られたものを見ることです。即ち樹木や花や岩や小川や鳥や大海などであり。それです。若し天気がよければ貴方の活動を森か山か海岸か、何処でも最もよくその目的を完成出来る処で、するようにしなさい。家族を自然のままの場所に伴うことが出来ないなら公園に同伴しなさい。そこには樹木や植物や鳥や虫やりすなどの多くの観察し学ぶべきものが

があります。若し雪が降つていたとしても家族は出て歩いて多くの興味あることを観察出来ます。例えば貴方は雪片の一つ一つがそれぞれ異つた興味ある幾何学的な形態をそなえているのを学ぶことが出来るでしょう。或雪片を黒い表面に置いてレンズで見ると面白い勉強が出来るでしょう。家族の者たちが天父の偉大な創造力の驚異を感じるように助け、そして私たちに溶けて飲料水となり灌漑用水となり水力発電の水となる雪を備えて下さつた彼の英知を指摘しなさい。

或家族は毎年、高いボプラの森に行つて白い樹皮の高い樹の下に立つて家族の一人がジョイス・キルマーの詩「樹」を暗誦するのを例年の行事として居ります。
また他の家族は共に登山をしました。一人の少年は他の者よりも先に頂上に達し戻つて来て恥しそくに告げました。「頂上はあまり美しいので私は思わず、美しいアメリカを歌つてしまいました。」(つづく)

図書案内

教義と聖約	上質革製合本	
高価なる真珠	一〇〇円	
モルモン経	一〇〇円	
教義と聖約	合本	三〇〇円
高価なる真珠	三〇〇円	
モルモン経(新約)	三〇〇円	
信仰簡条の研究	三三〇円	
基督・イエス	三〇〇円	
末日聖徒イエス・キリスト教会略史	一〇〇円	
モルモンとは(新版)	一五〇円	
総合聖句の手引	一五〇円	
メルケゼデク神権、教師と生徒用	二二〇円	
モルモン経の読み方と手引	一五〇円	
アロン神権者用学科課程	二二〇円	
神の王国	二二〇円	
アロン神権者用手引	一〇〇円	
アロン神権のなかの祭司	一八〇円	
回復された神の教会	一〇〇円	
神と人	二〇〇円	
家庭に於ける神権の発揚	一五〇円	
モルモン経の新研究	三三〇円	
日本系図探求要覧	一一五円	
扶助協会手引	一五〇円	
求道者教育法	一二〇円	
道は開ける	四五〇円	

日曜学校用

モルモン経物語	一五〇円
旧約聖書物語	一五〇円
福音の実践	二〇〇円
我等の標準聖典	二〇〇円
古代の使徒	一五〇円
教義と聖約の教え	二〇〇円
福音の紹介	一〇〇円
完成への道	一〇〇円
宗教生活	一五〇円
奇しきみわざ上巻・下巻	各二〇〇円
家督権の祝福	一〇〇円
家族の昇栄	二〇〇円
シオン山の救い手たち	二〇〇円
レッスンの手引	六〇円

M I A 用

M I A の手引	一二〇円
我らは信じる	二〇〇円
我らは生きる	二二〇円
我らは奉仕する(66年度テキスト)	一五〇円
素晴しき考え(66年度テキスト)	二〇〇円
生活の目標	一五〇円
今日の十誠	二五〇円

エンサインローレルの手引……………一五〇円
 演説が上手になる法……………一五〇円

ロールブック

M I A……………一〇〇円
 扶助協会……………一〇〇円

讃美歌及び歌集

末日聖徒讃美歌集(新版)……………四〇〇円
 リクリエーション歌集……………四〇〇円

その他ブックカバーなど

モルモン経カバー……………二〇〇円
 教義と聖約カバー……………二〇〇円
 合本カバー……………二〇〇円
 信仰簡条の研究用カバー……………二〇〇円
 聖餐カップ(一箱)……………二五〇円
 聖餐クロス(一セット)……………三二〇円
 ブレッドトレイ……………一三七五円
 ウォータートレイ……………二七五〇円
 LDS バッジ……………一〇〇円
 よりよいあなた……………一七〇円

図書の購入は支部長会に申し出てください

聖徒の道は

私たちが真理を知る「てだて」であり

私たちの心と心がかよう道です

あなたの霊の進歩のために

あなたの信仰のかてのために

お役に立つ本であればと思います

支部所在地

北海道地方部

- 旭 川 旭川市8条5丁目
MIA集会所 旭川公会堂
電話 (2-1545)
- 室 蘭 室蘭市幸町 89
電話 (7054)
- 小 樽 小樽市富岡町 1 / 35
電話 (2-8224)
- 札 幌 札幌市北 2 条西 24 丁目
電話 (63-7866)

東中央地方部

- 群 馬 高崎市並榎町 275
電話 (2-7121)
- 甲 府 甲府市中央 3 丁目 12-2
松 本 松本市開智 1 / 1 / 6
新 潟 新潟市中大畑町 557
電話 (2-8660)
- 仙 台 仙台市光禅寺通り 28
電話 (25-0897)
- 東 京 中 央 東京都港区青山北町 6 / 34
電話 (408-3307)
- 東 京 北 東京都中野区江原町 1 / 8 / 14
電話 (952-1531)
- 東 京 東 東京都江戸川区西小岩 5 / 8 / 6
電話 (657-5223)
- 東 京 南 東京都大田区南千束町 2-25-11
電話 (729-6311)
- 東 京 西 東京都武蔵野市吉祥寺東町 1 / 7 / 7
電話 (22-6764)
- 山 形 山形市七日町 4 丁目 12 / 23
横 浜 横浜市港北区篠原町 29
電話 (49-8772)

西中央地方部

- 阿 倍 野 大阪市阿倍野区阪南町中 1-11-8
電話 (623-4315)
- 福 岡 福岡市浄水町 46
電話 (52-8653)
- 広 島 広島市古田町古江 400 / 3
電話 (31-6135)
- 金 沢 金沢市兼六元町 3 / 8
電話 (21-2131)
- 京 都 京都市左京区下鴨松原町 44
名 古 屋 名古屋市昭和区北山町 3 / 41
電話 (73-4210)
- 西 ノ 宮 兵庫県西ノ宮市仁川町 4 / 54
電話 (5-0141)
- 岡 町 大阪府豊中市岡町北 2 / 18
電話 (52-1236)
- 岡 山 岡山市学南町 1 / 13 / 11
三 ノ 宮 神戸市灘区篠原本町 4 / 35
電話 (86-2602)
- 柳 井 山口県柳井市今市 391

沖縄地方部

- 普 天 間 沖縄宜野湾市野嵩区 328
那 覇 沖縄那覇市崇元寺町 1-128-20
電話 (8-6568)

- 建築部事務所 東京都港区青山北町 6 / 34
電話 (402-4010)

(誤りのある支部の支部長はご一報ください)

聖徒の道

一九六六年九月一日発行

振替口座 東京一六二二六番

発行人兼編集人 アドニー・Y・小松

発行所 東京都港区南麻布五丁目八番十
末日聖徒イエス・キリスト教会

印刷所 株式会社三五堂

定価八十円

一年予約八百四十円(申込は支部長まで)